

第1次七尾市総合計画 目標達成状況

(平成22年12月20日現在)

企画経営部企画課

目次

1	目標達成状況の概要	1
2	目標人口達成状況	4
3	分野別目標達成状況	
	第1節 地域経営	5
	第2節 産業	9
	第3節 教育	19
	第4節 芸術・文化	27
	第5節 自然環境	31
	第6節 健康・福祉・医療	35
	第7節 生活環境・都市基盤	45
4	分野別目標達成状況一覧	53

目標達成状況の概要

1 将来人口（目標人口）及び主な目標値について

（１）基本構想の将来人口（目標人口）

第1次七尾市総合計画（平成21～30年度）の基本構想では、平成30年度の推計人口約50,000人に対し、人口減少を抑制する重点的かつ戦略的な施策展開により、将来人口（目標人口）を52,000人とし、各年度の目標人口を設定しています。

（２）基本計画の主な目標値（分野別目標達成）

また、基本構想では、市の将来像を「人が輝く 交流体感都市」とし、その実現のため基本計画において、施策ごとに具体的な数値で示した64の主な指標を設定しています。

将来人口及び主な目標値については、総合計画の目標年次（平成30年度）と前期基本計画の目標年次（平成25年度）の数値目標とともに、年度ごとの目標値を設定し、達成状況を毎年度公表することとしています。

なお、下記の6指標については、主な修正理由により、当初設定した指標から変更をしています。

分野	当初の指標	修正後の指標	主な修正理由
2-2-(1)	商品販売額 商業統計調査（年間商品販売額）	新たな商品・サービスの創出を行った事業者数	商業統計調査の実施が5年ごとであり、各年度の実績状況が把握できないため指標を変更
2-2-(2)	有効求人倍率	新規起業家数	有効求人倍率は、市施策の影響より国の景気動向に左右されるため指標を変更
2-3-(1)	10a当たりの生産農業所得	集落営農組織数	当初指標の数値把握が困難なため指標を変更
2-4-(2)	中心市街地商店街商品販売額 商業統計調査（中心市街地の年間商品販売額）	空き店舗の活用件数	商業統計調査の実施が5年ごとであり、各年度の実績状況が把握できないため指標を変更
6-1-(3)	育児に不安を持っている親の割合 （3ヶ月検診時におけるアンケート調査）	育児の心配・困りごとがある保護者の割合 （乳児一般健康診査2回目（9～11か月児）での問診）	不安を持つという指標が漠然としていたため表現方法を変更 育児が安定していない時期であったため調査時期を変更
6-1-(3)	朝食を食べていない幼児の割合 （3歳児検診時におけるアンケート調査）	毎日朝食を食べる習慣のある子どもの割合 （市内の4歳児、5歳児に対する食の実態把握調査）	「食べていない」のマイナス表現を「毎日食べる」に指標の表現を変更 就学前までに習慣づけることとするため調査時期を変更

2 平成21年度の実績について

(1) 目標人口の実績

平成22年10月1日現在の目標人口58,005人に対し、石川県が発表する推計人口による実績は57,975人となり、ほぼ目標人口を達成しています。

(2) 分野別目標達成の評価基準

実績は、目標の達成状況に応じて、S、特A、A、B、Cの5つの評価ランクで区分しています。

評価ランク	当該年度目標達成率
S：平成25年度の目標値を達成している	—
特A：当該年度の目標ラインを大幅に上回っている	110%以上
A：当該年度の目標ラインを上回っている	100%以上～110%未満
B：当該年度の目標ラインを下回っている	90%以上～100%未満
C：当該年度の目標ラインを大幅に下回っている	90%未満

(3) 分野別目標達成の実績の概要

平成21年度の主な目標値の63指標（※1）の実績は、Sランク7指標、特Aランク3指標、Aランク19指標、Bランク23指標、Cランク11指標となり、Aランク以上の政策全体の達成率は、46%となっています。

（※1 年度途中の指標変更により、比較数値が把握できない1指標を除く）

政策別の達成率を見ると、「地域経営」が66.7%と高く、次いで「芸術・文化」が60%、「自然環境」「生活環境・都市基盤」が50%となっています。

一方、達成率の低い政策は、「教育」「健康・福祉・医療」がともに36.4%、次いで「産業」が43.8%となっています。

◎ 達成率：（ランクS、特A、Aの指標数） ÷ 指標数 × 100

政策区分	S	特A	A	B	C	合計	達成率
地域経営			4	2		6	66.7%
産業	1	1	5	5	4	16	43.8%
教育	1	1	2	3	4	11	36.4%
芸術・文化	2	1		2		5	60.0%
自然環境	1		1	2		4	50.0%
健康・福祉・医療	1		3	6	1	11	36.4%
生活環境・都市基盤	1		4	3	2	10	50.0%
合計	7	3	19	23	11	63	46.0%

3 まとめ

今回の目標達成状況は、平成21年度からの第1次七尾市総合計画に基づき、今年度始めて実施したものです。

目標人口については、ほぼ目標を達成しております。しかし、比較している実績は5年前の国勢調査をベースにした県の推計人口であるため、今後発表される平成22年10月1日基準日の国勢調査の結果と比較する必要があります。

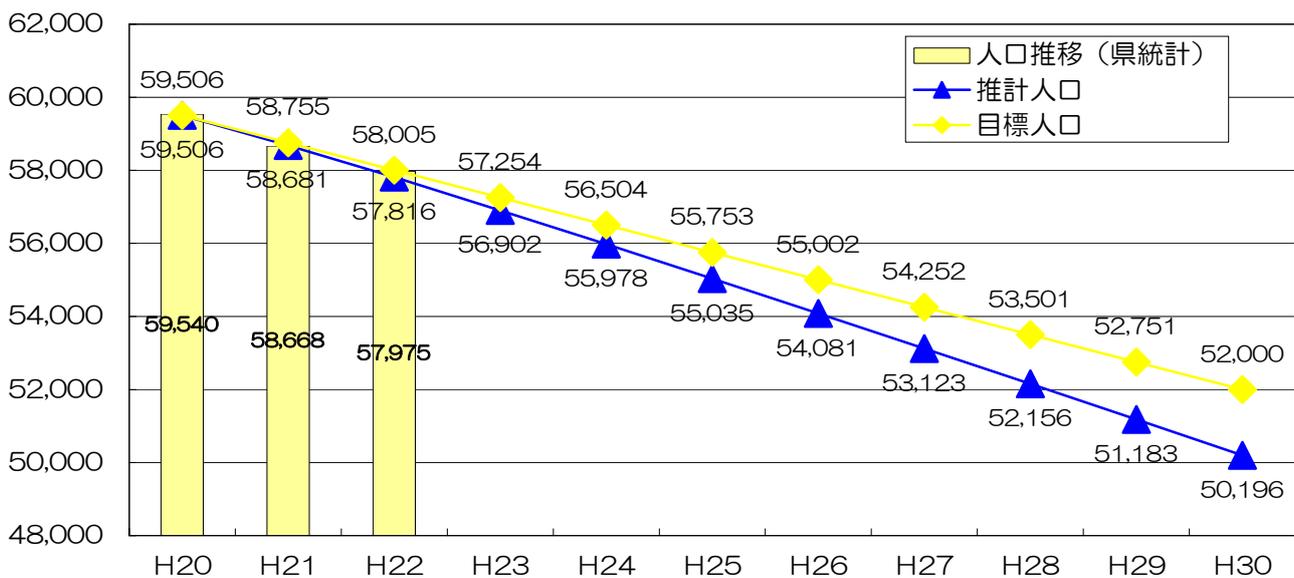
分野別目標達成については、指標の変更をした項目（6指標）があることや分野別の主な目標値設定の難易度にばらつきが見られることから、分野別の比較より政策全体としての達成率の評価を重視する必要があります。特に達成率の低い政策分野については、全体的な底上げをしていかなければなりません。

また、次年度以降は、目標値の達成状況が対前年度比の伸び率で比較できるため、当該年度に実施した分野別施策の効果の度合いを見極め、次年度の施策への反映をしていきます。

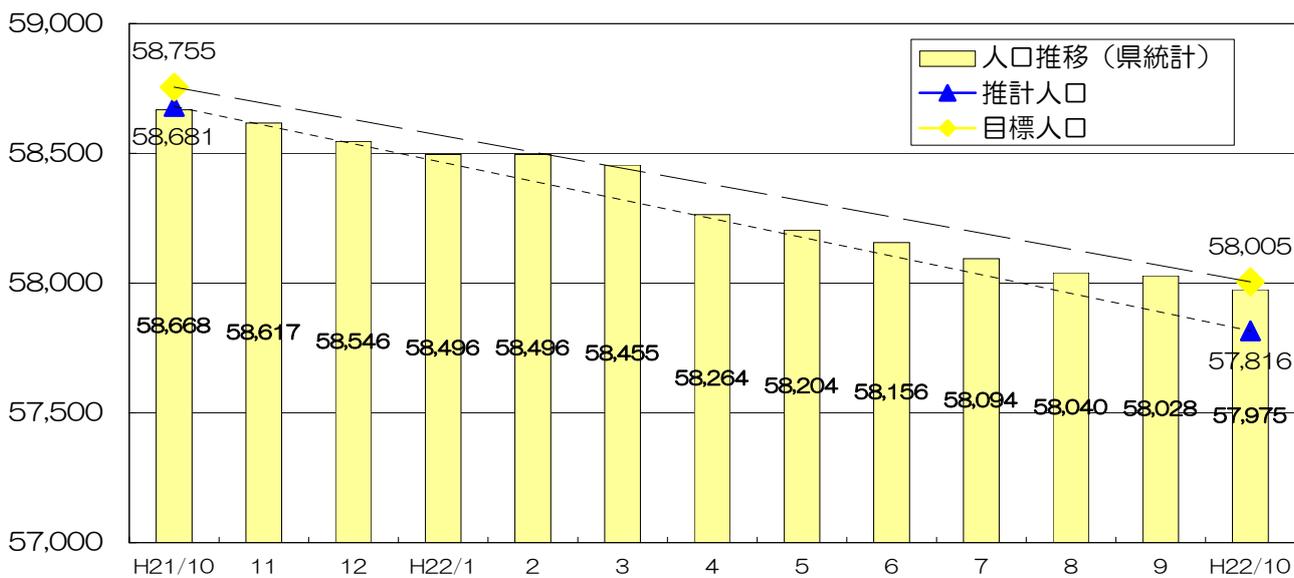
特に、ランクB、Cの分野については、毎年度の具体的な現状、課題を適切に分析し、工夫をした施策運営をするとともに、前期基本計画（平成25年度）の目標達成に向け、計画的な事業展開に積極的に取り組むこととします。

目標人口達成状況

人口推移（各年10月1日現在）



月別人口推移（各月1日現在）



年/月	人 口			増減数	対 前 月				世帯数	対前月増減数
	総 数				自然増減数		社会増減数			
		男	女		出生者数	死亡者数	転入者数	転出者数		
人	人	人	人	人	人	人	人	世帯	世帯	
H21/10	58,668	27,498	31,170	1	40	58	112	93	21,576	46
H21/11	58,617	27,484	31,133	-51	38	59	85	115	21,581	5
H21/12	58,546	27,457	31,089	-71	24	58	86	123	21,560	-21
H22/1	58,496	27,436	31,060	-50	30	73	75	82	21,554	-6
H22/2	58,496	27,443	31,053	-	40	54	88	74	21,558	4
H22/3	58,455	27,430	31,025	-41	22	64	73	72	21,550	-8
H22/4	58,264	27,344	30,920	-191	46	71	189	355	21,519	-31
H22/5	58,204	27,335	30,869	-60	39	69	195	225	21,541	22
H22/6	58,156	27,318	30,838	-48	28	62	83	97	21,550	9
H22/7	58,094	27,279	30,815	-62	33	71	103	127	21,543	-7
H22/8	58,040	27,254	30,786	-54	39	54	91	130	21,542	-1
H22/9	58,028	27,257	30,771	-12	31	54	95	84	21,539	-3
H22/10	57,975	-	-	-53	33	61	83	108	21,541	2
累計				-692	443	808	1,358	1,685		11

分野別目標達成状況

1 地域経営
1 協働・市民参画の推進
(1) 協働のまちづくりの推進

担当課	評価ランク
地域づくり協働推進室	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
市民と行政が協力し合うまちづくりが進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	20.1%	22.6%	25.0%	35.0%

この分野における現状

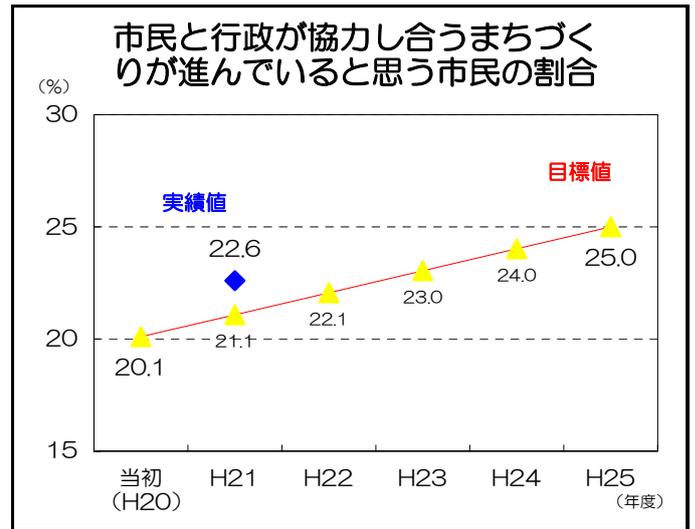
・田鶴浜、中島、能登島の地域づくり協議会では、地域の底力支援事業など、地域での自主的な活動が進み始めている。
 ・また、協働のまちづくり推進事業により市民活動団体からの提案について、行政が財政面を支援する仕組みは出来たが、今後その他の一般市民の関心を喚起する仕組みづくりが必要

目標達成に向けた具体的な課題

・協働の概念普及と役割分担の明確化：市民、事業者、行政の意識改革（協働に関する勉強会、研修会が不足している）
 ・旧七尾市地域における地域づくり協議会の設置促進（地域活動の基盤整備）

平成22年度主要事業

・まちづくり基本条例策定事業
 ・まちづくりコーディネーター配置事業
 ・協働のまちづくり推進事業
 ・地域の底力支援事業
 ・協働のまちづくりモデル事業



担当課	評価ランク
地域づくり協働推進室	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
地域活動に参加している市民の割合（市民アンケート）	51.3%	47.7%	55.0%	60.0%

この分野における現状

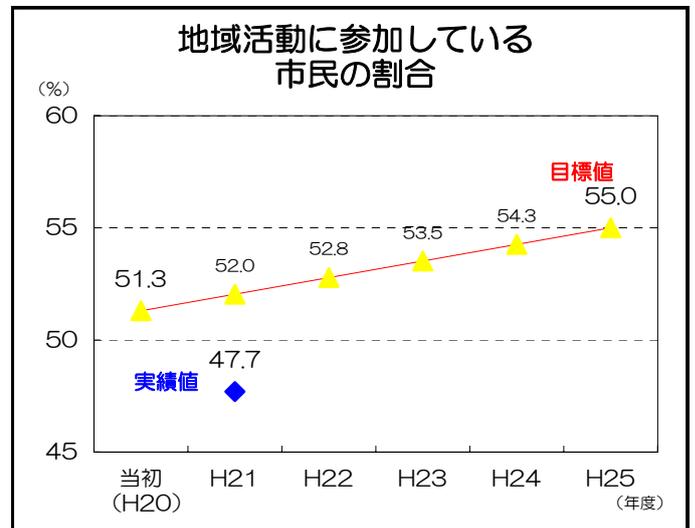
女性団体や青年団の組織率低下に加え、老人会の高齢化などによる役員交代など地域の担い手不足が問題化しつつある。

目標達成に向けた具体的な課題

・協働の仕組みづくり（七尾市の協働の仕組みづくりができていない）（町会・公民館・社協・行政等連携強化）
 ・継続可能な地域社会システムの構築

平成22年度主要事業

・まちづくり基本条例策定事業
 ・まちづくりコーディネーター配置事業
 ・協働のまちづくり推進事業
 ・地域の底力支援事業
 ・協働のまちづくりモデル事業



分野別目標達成状況

1 地域経営
1 協働・市民参画の推進
(2) 広報・広聴活動の充実

担当課	評価ランク
市民男女協働課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
市が市政に関する情報を適切に提供していると思う市民の割合（市民アンケート）	47.0%	50.3%	56.0%	65.0%

この分野における現状

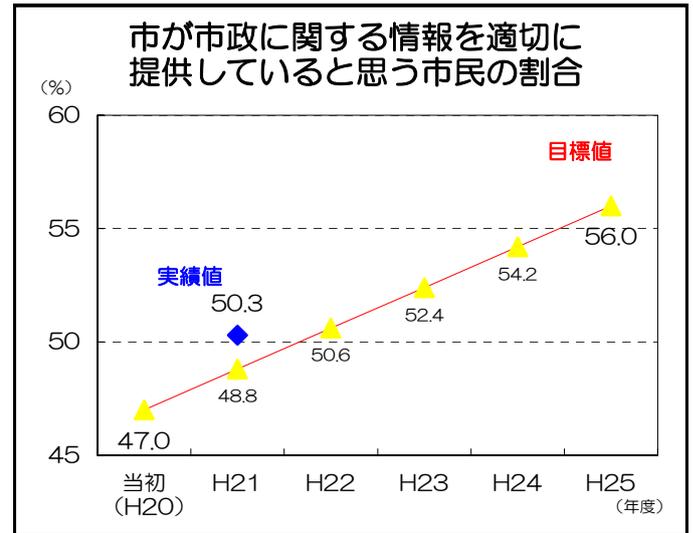
・毎月「広報ななお」「声の広報」を発行し、市からのお知らせや地域的话题を伝えている。
 ・地域に向いて市の施策などについて意見交換を行う「市政懇談会」や市長と直接話しができる「市長談話室」などを定期的で開催している。

目標達成に向けた具体的な課題

広報…情報の一元化を行い、各種媒体（紙・ケーブルテレビ・ホームページ）を生かした広報を行う必要がある。
 広聴…意見を外に出さない市民の存在を認識し、市民の声を聴く機会の充実が求められる。

平成22年度主要事業

- ・市民にわかりやすい広報誌の作成
- ・市政懇談会の開催
- ・市長談話室の定期開催
- ・市民の声を把握する「ご意見箱」の設置 など



分野別目標達成状況

1 地域経営
2 効率的な行政経営の推進
(1) 行政サービスの向上

担当課	評価ランク
秘書人事課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
市役所職員の窓口や電話での対応に満足している市民の割合 (市民アンケート)	56.0%	57.7%	65.0%	75.0%

この分野における現状

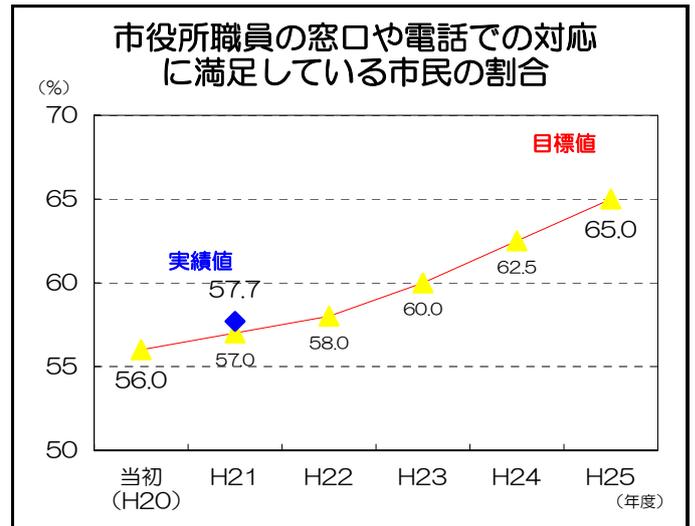
・ 接遇研修等による市役所は市民サービス会社であるという意識改革により、接遇向上に対する職員の意識は、徐々に高まりつつある。

目標達成に向けた具体的な課題

・ 職員の意識改革の徹底

平成22年度主要事業

- ・ 窓口接遇アンケートの実施
- ・ 庁内接遇研修事業
- ・ 外部機関派遣研修事業 (接遇、クレーム対応)
- ・ 人事考課制度 (意識改革につながる自己チェック方式の導入)



分野別目標達成状況

1 地域経営
2 効率的な行政経営の推進
(2) 健全な行財政経営の推進

担当課	評価ランク
財政課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
経常収支比率	98.8%	94.5%	97.0%	92.0%

この分野における現状

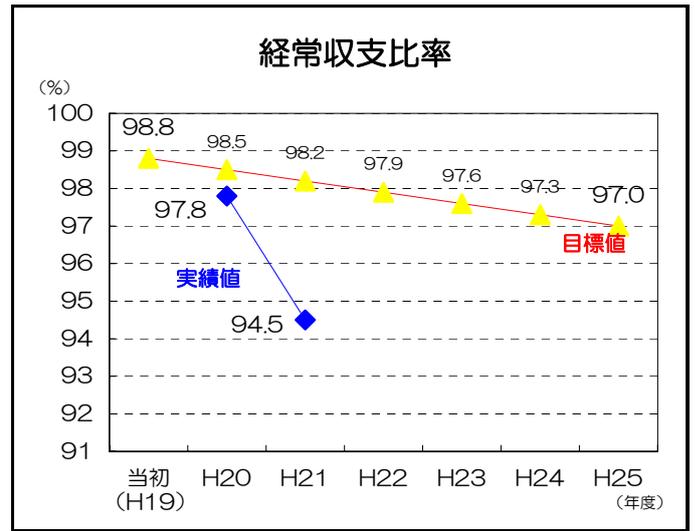
財政構造の弾力性を示す経常収支比率は94.5%で、対前年度3.3ポイント減で改善され、行財政改革の取り組みが推進されている。

目標達成に向けた具体的な課題

・市税の確保	
平成19年度決算（市税）	9,543百万円
平成20年度決算（市税）	9,401百万円
平成21年度決算（市税）	8,928百万円
平成22年度当初予算（市税）	8,728百万円

平成22年度主要事業

・普通交付税	
H22：9,604百万円	H21：9,743百万円 △139百万円
・臨時財政対策債	
H22：1,730百万円	H21：1,056百万円 674百万円
※実質交付税 535百万円の増	



担当課	評価ランク
財政課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
実質公債費比率	20.1%	20.2%	19.0%	17.0%

この分野における現状

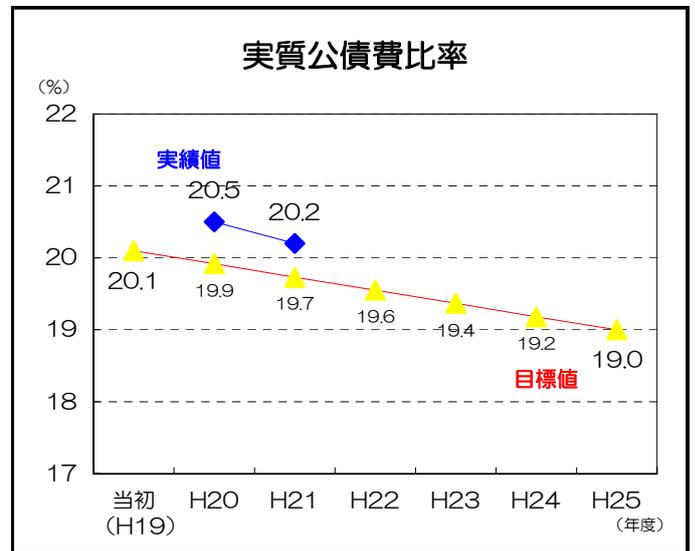
公債費充当一般財源は、約49億円規模で、公債費に準ずる債務負担行為約1.6億円、一部事務組合では、病院・消防・ごみ処理、石川北部PDF関係の準元利償還金約14億円である。また、公営企業による下水道、簡易水道、上水道等の準元利償還金は約13億円であり、平成21年度公債費等全体約78億円に占める一部事務組合・公営企業の割合は、約35%を占めている。

目標達成に向けた具体的な課題

・交付税措置のある有利な地方債発行 (合併特例債の発行 ～平成26年度まで) 償還条件：償還期間20年(うち3年据置)
・資金手当の退職手当債の発行抑制

平成22年度主要事業

・石川県自治振興資金貸付金の繰上償還 371,550千円



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(1) 魅力あふれる観光地の形成

担当課	評価ランク
観光交流課	B

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
七尾市への入り込み客数	3,822,705人	3,684,295人	4,000,000人	4,300,000人

この分野における現状

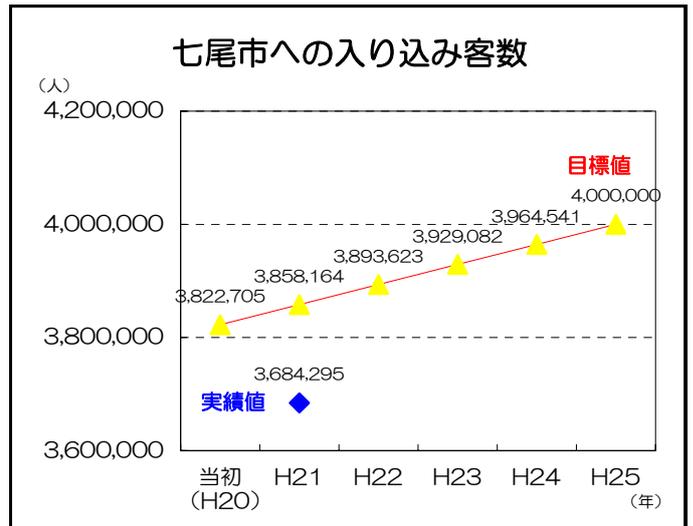
能登半島地震、鳥インフルエンザ、リーマンショック等による景気低迷で観光客が減少してきたが、外資系ホテルの進出や旅館の独自性のサービス等により宿泊客数が4月以降前年対比を上回っている。また、旅行形態の変化(団体型→個人・小グループ)による観光客のニーズの多様化が進んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「地域資源」を活用した「体験・学習・交流・食」メニューの充実による「滞在型観光」の整備。
- ・平成26年度新幹線金沢開業及び平成24年度能越自動車道七尾東IC供用開始に伴う観光関連整備事業(ソフト・ハード)の推進

平成22年度主要事業

- ・魅力あるイベントの開催(MJF、港まつり、花嫁のれん展、能登ふるさと博等) ・長谷川等伯没後400年記念事業
- ・まちなか観光魅力アップ推進事業(七尾まちなかテント市等)
- ・七尾湾魅力アップ推進事業(シガツカ能登島、ドラゴボート大会等)
- ・合宿拠点整備事業 ・能登食祭市場において観光案内所の人的配置



担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
和倉温泉への入り込み客数	905,705人	810,071人	1,091,000人	1,200,000人

この分野における現状

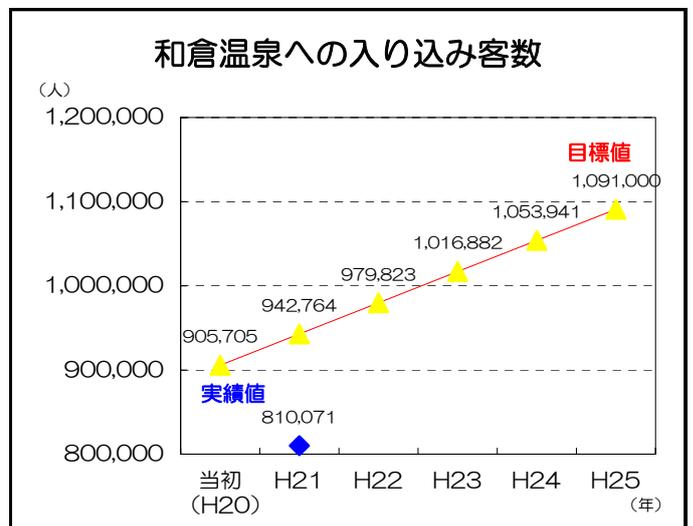
能登半島地震、鳥インフルエンザ、リーマンショック等による景気低迷で観光客が減少してきたが、外資系ホテルの進出や旅館の独自性のサービス等により宿泊客数が4月以降前年対比を上回っている。また、旅行形態の変化(団体型→個人・小グループ)による観光客のニーズの多様化が進んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「地域資源」を活用した「体験・学習・交流・食」メニューの充実による「滞在型観光」の整備。
- ・平成26年度新幹線金沢開業及び平成24年度能越自動車道七尾東IC供用開始に伴う観光関連整備事業(ソフト・ハード)の推進

平成22年度主要事業

- ・和倉温泉の魅力あるイベントの開催(能登の賑わい、夏・冬花火、能登和倉万葉の里マラソン、短歌・俳句大会) ・和倉温泉宿泊拠点化推進事業(二次交通促進事業)
- ・和倉温泉まちづくり推進事業 ・和倉港整備事業
- ・観光地ブランド化推進事業 ・和倉温泉誘客広報全国展開事業



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(2) 広域観光の促進

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
三大都市圏からの入り込み客数 (和倉温泉)	482,114人	436,857人	570,000人	600,000人

この分野における現状

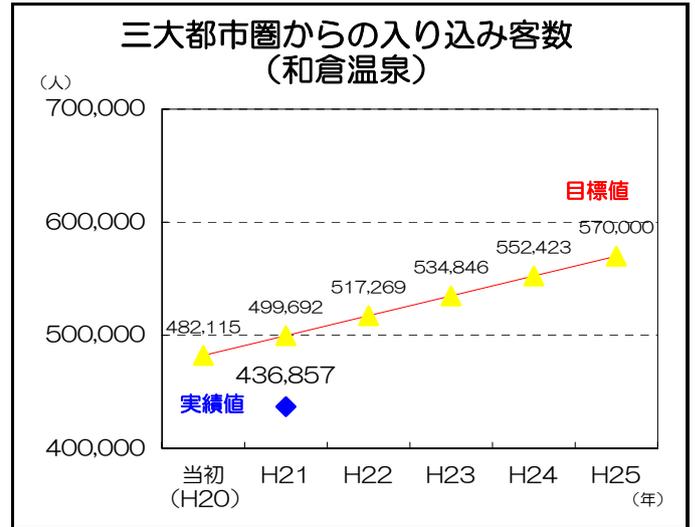
能登地域と三大都市圏を結ぶ交通ネットワークの形成を促進し、全国から人、モノの集まる開かれた地域をつくる基盤となる空港、鉄道、高速道路など高速交通網の整備が進められている。このことから、能登地域の基幹産業である「観光」を広域的に取り組み、連泊滞在型の観光地を目指し、地域経済の活性化を図る。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・能登半島観光圏推進協議会の構成団体である宝達志水町以北の4市5町全域のタイムリーな情報提供
- ・各市町の「地域資源」の有機的な連携による「滞在型観光」の整備
- ・平成26年度新幹線金沢開業及び平成24年度能越自動車道七尾東IC供用開始に伴う観光関連整備事業（ソフト・ハード）の推進

平成22年度主要事業

- ・能登半島観光圏推進協議会による整備計画の推進
- ・能登半島地震風評被害払拭観光キャンペーン事業
- ・郡上市、丸亀市交流事業
- ・飛越能経観光都市懇談事業
- ・高岡氷見七尾広域観光事業
- ・和倉温泉誘客広報全国展開事業



担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
外国人宿泊者数 (和倉温泉)	21,268人	10,784人	40,000人	50,000人

この分野における現状

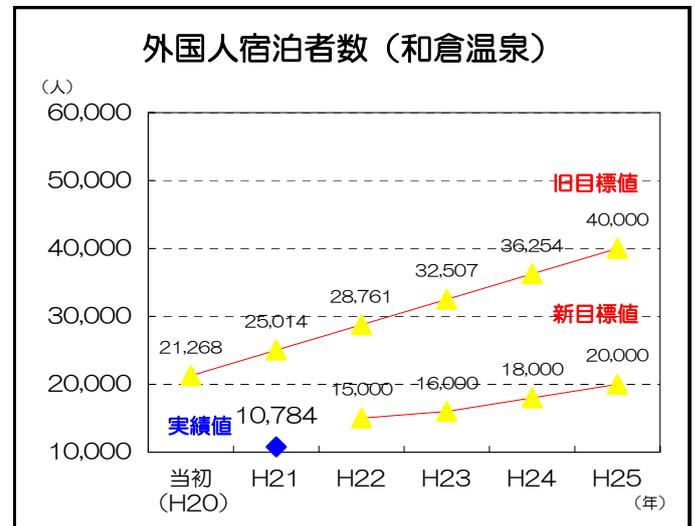
能登半島地震、鳥インフルエンザ、リーマンショック等による景気低迷で観光客が減少してきたが、外資系ホテルの進出や旅館の独自性のサービス等により宿泊客数が4月以降前年対比を上回っているが、急激な円高により外国人の誘客数が大幅に減少している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・国際チャーター便の誘致活動の推進
- ・外国人観光客の受け入れ体制の強化
- ・外国人観光客への情報発信

平成22年度主要事業

- ・サイクリングロード利用促進事業
- ・能登空港活性化、利用促進事業
- ・台湾観光団体誘客事業（ゴルフ）



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(3) 体験・滞在型交流の促進

担当課	評価ランク
観光交流課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
体験・滞在型交流人口	2,202人泊	10,579人泊	65,000人泊 7,300人泊	90,000人泊 9,500人泊

この分野における現状

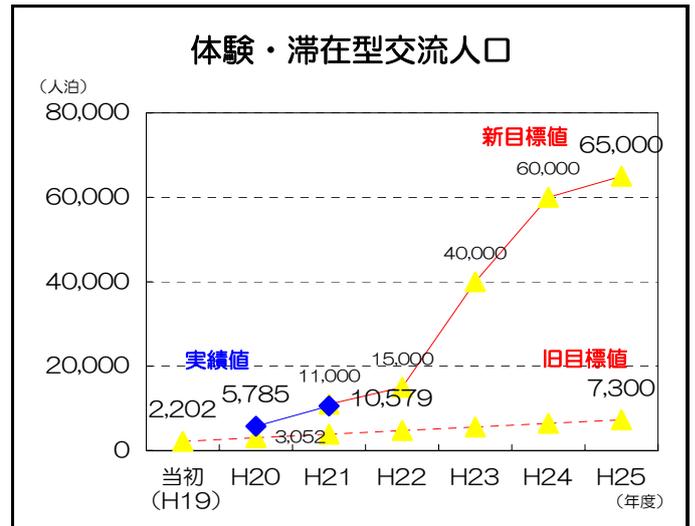
「地域資源」を活用した「体験・学習・交流・食」メニューのプログラムの提供やスポーツ合宿により、入り込み数が大幅に増加。特に、スポーツ（サッカー）合宿が急激に伸びており、今年度建設した和倉温泉多目的グラウンドの整備により、更に誘客を図る。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「地域資源」を活用した「体験・学習・交流・食」メニューのプログラムの充実による「体験・滞在型交流」の推進。
- ・受け入れ地域の拡大や地域エージェントによるビジネスの展開
- ・文化サークル等の合宿の受け入れ態勢を強化し、サッカー合宿推進協議会をスポーツ・文化の合宿を受入をする協議会に強化する。

平成22年度主要事業

- ・ふるさと魅力創出事業（スローライフ推進事業）
- ・合宿誘致事業
- ・合宿拠点整備事業
- ・子ども農山漁村交流プロジェクト事業



分野別目標達成状況

2 産業
2 商工業の振興
(1) 地域資源を活かした商工業の振興

担当課	評価ランク
産業振興課	B

指標名	当初 (平成18年)	現状 (平成20年)	平成25年	平成30年
製造品出荷額等	693億円	703億円	721億円 750億円 724億円	741億円 750億円 749億円

この分野における現状

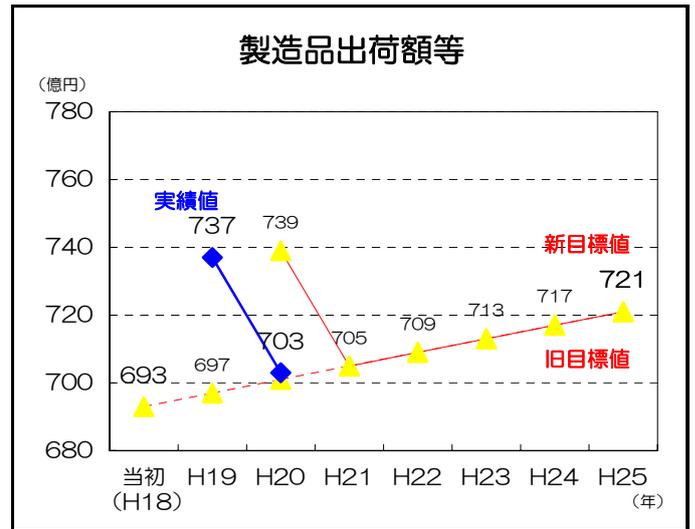
- ・事業所数の減少
- ・伝統産業の衰退
- ・中小小売業者の減少

目標達成に向けた具体的な課題

- ・中小企業経営の安定化に向けた取り組み
- ・技術伝承のための人材育成
- ・売り上げ減少、後継者不足、ニーズの多様化に対応した経営
- ・生産の共同化、協業化に向けた体制づくり

平成22年度主要事業

- ・中小企業経営安定保証料補助金
- ・人材育成（のと・七尾人間塾、創業塾）
- ・伝統産業振興（七尾仏壇・田鶴浜建具）
- ・異業種連携促進事業（再生祭り「仮称」の開催）
- ・販路開拓アドバイザーによる企業支援（緊急雇用創出事業）



担当課	評価ランク
産業振興課	A

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
(修正) 新たな商品・サービスの創出を行った事業者数	15事業者	7事業者	10事業者	15事業者

この分野における現状

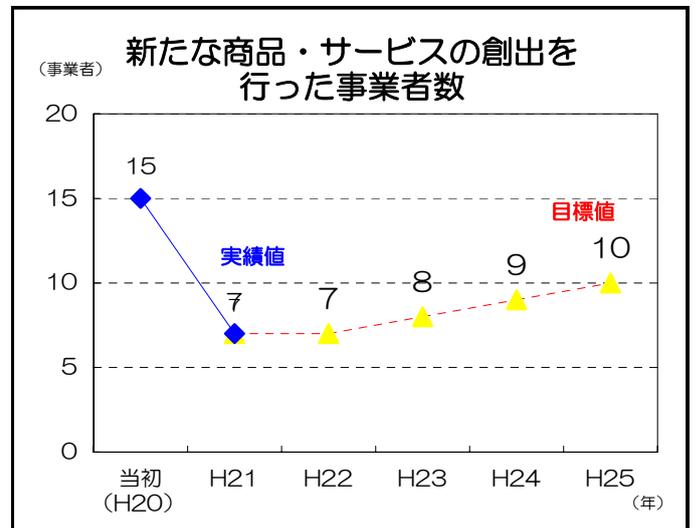
- ・事業所数の減少
- ・伝統産業の衰退
- ・中小小売業者の減少

目標達成に向けた具体的な課題

- ・中小企業経営の安定化に向けた取り組み
- ・地域資源を活かした施策の展開
- ・売り上げ減少、後継者不足、ニーズの多様化に対応した経営
- ・魅力ある商店街づくり

平成22年度主要事業

- ・農商工連携の推進（名産品「緊急雇用創出事業」・新商品開発等）
- ・中小企業経営安定保証料補助金
- ・人材育成（のと・七尾人間塾、創業塾）
- ・伝統産業振興（七尾仏壇・田鶴浜建具）
- ・異業種連携促進事業（再生祭り「仮称」の開催）
- ・販路開拓アドバイザーによる企業支援（緊急雇用創出事業）
- ・空き店舗対策事業 ・産業化資源事業化可能性調査事業



分野別目標達成状況

2 産業
2 商工業の振興
(2) 雇用機会の創出と人材育成

担当課	評価ランク
企画課	特A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
企業立地件数（平成21年度からの累計）	0件	2件	5件	10件

この分野における現状

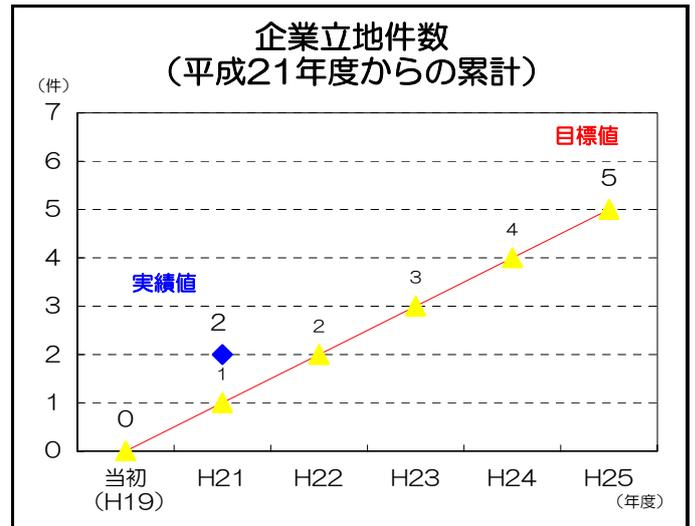
近年の経済情勢等により、企業進出等はあまり期待できない状況。

目標達成に向けた具体的な課題

イセ株の七尾ファーム誘致に取り組んでいるが、地元の反対があり、同意を得られていない。

平成22年度主要事業

イセ株の七尾ファームの建設に係る瀬嵐・鹿島台からの同意を得るため、面談・説明会、調査等を実施



担当課	評価ランク
産業振興課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 新規企業家数（平成19年度からの累計）	3人	5人	8人	12人

この分野における現状

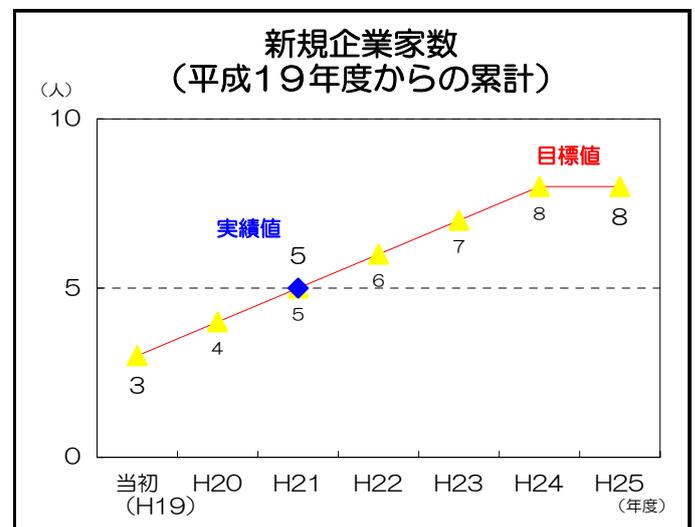
- ・企業誘致が進んでいない。
- ・地域産業の衰退（産業人材の不足）
- ・雇用形態の多様化
- ・厳しい雇用、失業情勢

目標達成に向けた具体的な課題

- ・企業誘致に不利な立地条件
- ・マーケティング能力（販売推進、販路拡大）を持った改革推進人材の不足（企業が求める職業能力を持った人材育成）

平成22年度主要事業

- ・ネットワークを活用した企業誘致活動
- ・空き店舗対策事業
- ・人材・起業家育成（のと七尾人間塾・創業塾）
- ・異業種連携促進事業（再生祭り「仮称」の開催）
- ・販路開拓アドバイザーによる企業支援（緊急雇用創出事業）
- ・ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(1) 個性豊かな農業の振興

担当課	評価ランク
農林水産課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
認定農家数	101経営体	116経営体	130経営体	160経営体

この分野における現状

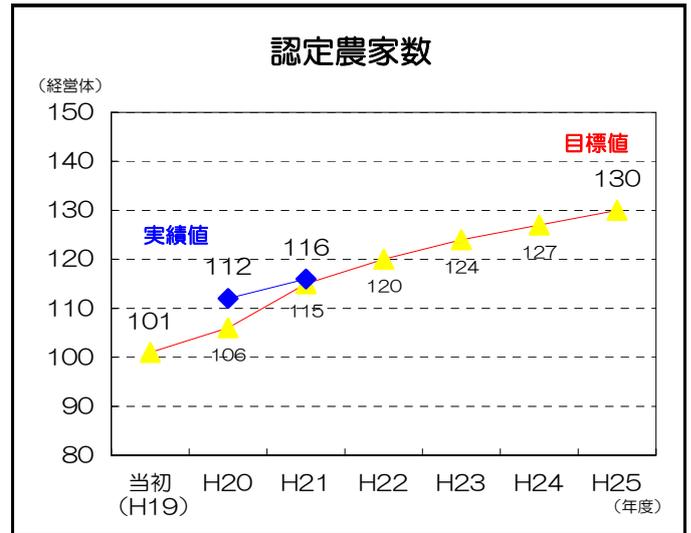
・農業者が自ら作成する農業経営改善計画（5年後の経営目標）を認定することにより、意欲を持って経営の改善・発展に取り組む認定農業者を育成している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・基盤整備事業（ほ場整備）の推進。
- ・「担い手」の育成（農業法人、集落営農等）及び経営支援の取り組み。
- ・加工・流通・販売等の多角化経営の取り組み。

平成22年度主要事業

- ・高階地域の基盤整備事業
- ・認定農業者・集落営農組織の育成
- ・新規就農者の就農支援。
- ・営農支援センターにおける担い手育成事業の推進。



担当課	評価ランク
農林水産課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 集落営農組織数	25組織	25組織	27組織	28組織

この分野における現状

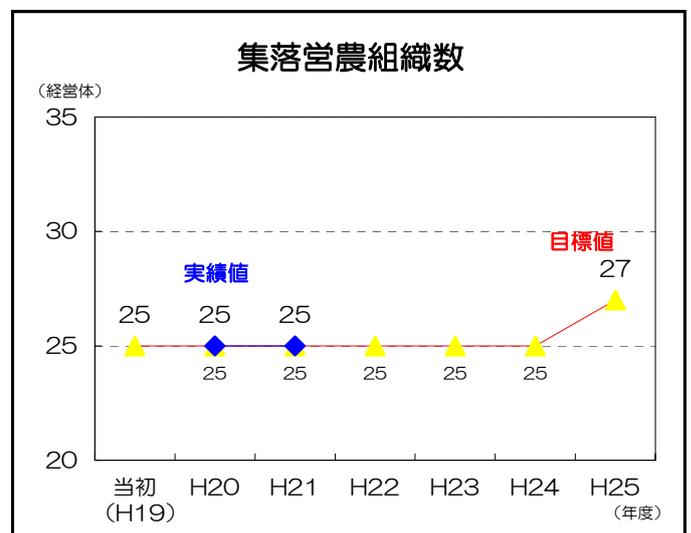
・農業者が自ら作成する農業経営改善計画（5年後の経営目標）を認定することにより、意欲を持って経営の改善・発展に取り組む認定農業者を育成している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・基盤整備事業（ほ場整備）の推進。
- ・「担い手」の育成（農業法人、集落営農等）及び経営支援の取り組み。
- ・加工・流通・販売等の多角化経営の取り組み。

平成22年度主要事業

- ・高階地域の基盤整備事業
- ・認定農業者・集落営農組織の育成
- ・新規就農者の就農支援。
- ・営農支援センターにおける担い手育成事業の推進。



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(2) 豊かな森林資源の保全と活用

担当課	評価ランク
農林水産課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
間伐材生産量	1,213 ^{m³}	3,165 ^{m³}	4,000 ^{m³} 1,880 ^{m³}	4,700 ^{m³} 2,390 ^{m³}

この分野における現状

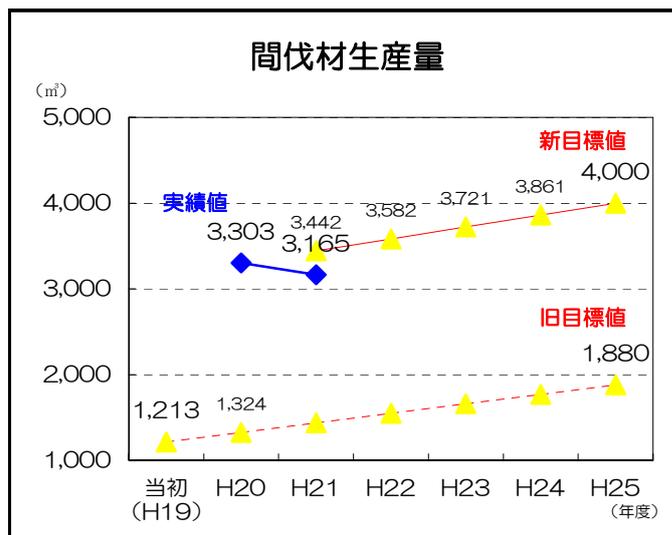
・木材価格の低迷、林業採算性の悪化、過疎化等による手入れ不足の森林が増加しているため、森林が荒廃し、機能が低下し、災害等の発生が懸念されており、適切な森林施業の実施が必要である。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・除間伐などの森林施業の実施
- ・森林の公益的機能の低下防止、回復
- ・間伐材利活用促進、需要拡大
- ・担い手など人材育成

平成22年度主要事業

- ・七尾市産材使用住宅助成事業
- ・間伐材利活用促進事業（環境美化推進）
- ・農林振興ビジョンの策定



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(3) 魅力ある水産業の創出

担当課	評価ランク
農林水産課	S

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
七尾市公設地方卸売市場の水産物取扱高	12,205 千t	14,013千t	13,800千t 12,500千t	15,300千t 13,000千t

この分野における現状

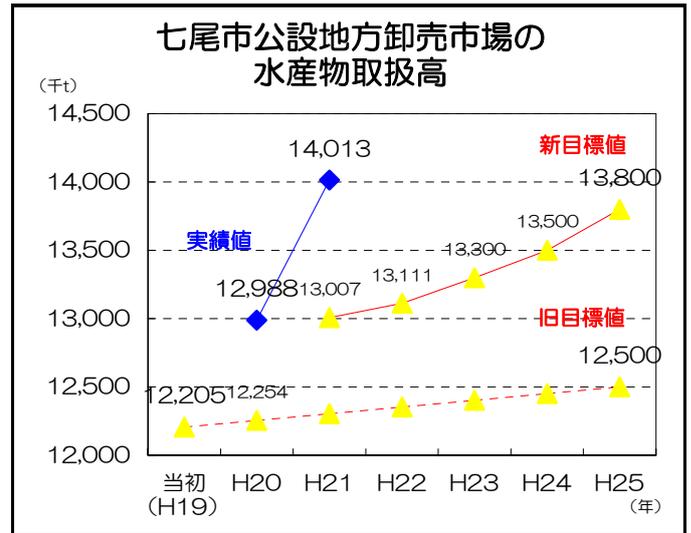
漁業経営者の減少、慢性的な資源減少、消費者の魚はなれ、魚価の低迷など、漁業を取り巻く環境は厳しいが、大型定置網漁業には、新規就業者が増加しており、安定的な漁業経営を営む下地はできつつある。

目標達成に向けた具体的な課題

栽培漁業の推進
 ・アガヒ、ササギ、アヒ、カサヒ、ヒラメの放流
 ・高級魚介類の資源増大に向けた取組み(トカヒ、トラフグ、マコ)
 「いきいき七尾魚」、「能登かき」、「能登なまこ」ブランド化
 水産基盤の整備

平成22年度主要事業

トカヒ試験養殖事業、資源増大事業(マコ・トラフグ)
 七尾ブランドポジション向上のための見本市出店
 環境衛生管理型漁港の整備(庵漁港)
 かき殻利活用施設の計画策定(用地測量)



分野別目標達成状況

2 産業
4 港を核とした産業の振興
(1) 港湾の機能充実と利用促進

担当課	評価ランク
企画課	C

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
取扱貨物量（七尾港）	4,395千t	3,129千t	4,900千t	5,400千t

この分野における現状

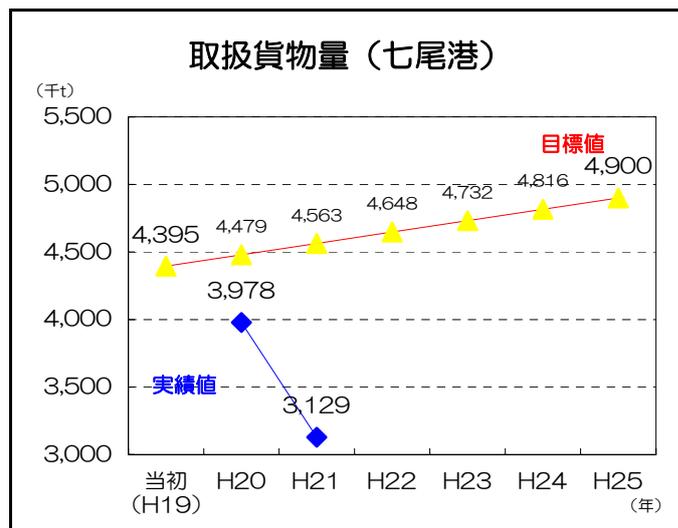
- ・主要貨物である石炭、原木などの取扱いが激減
- ・原木から製品、半製品へ取扱貨物が移行
- ・新規の直轄港湾整備事業の着手対象となる港湾から外れた。

目標達成に向けた具体的な課題

- 協議会、会議所、海陸の連携による
- ・コンテナ貨物も含めた新規貨物の掘り起こし
 - ・既存取扱貨物の確保

平成22年度主要事業

- ・七尾港利活用促進トライアル事業
- ・七尾港利用促進調査事業
- ・ポートセールス事業
- ・能登食祭市場賑わい創出支援事業



分野別目標達成状況

2 産業
4 港を核とした産業の振興
(2) 中心市街地活性化の推進

担当課	評価ランク
産業振興課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年	平成30年
(修正) 空き店舗の活用件数 (平成21年度からの累計)	0件	1件	4件	9件

この分野における現状

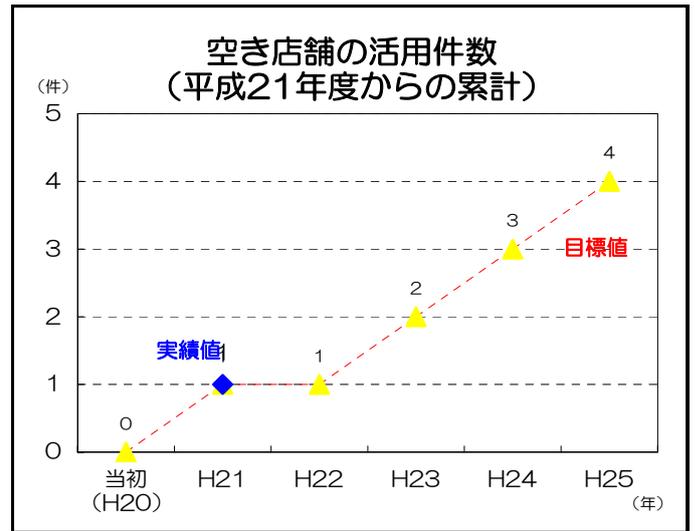
- ・ 少子高齢化の顕著化
- ・ モータリゼーションの進展
- ・ 郊外型大規模店舗の進出
- ・ 中心市街地の活力の低下

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 市街地の人口減少
- ・ 空き店舗、空き家、空き地の増加
- ・ 商店街機能の低下
- ・ 活力（集客力）の低下

平成22年度主要事業

- ・ 空き店舗対策事業 ・ まちなか広場（仮）の整備
- ・ 中心市街地空き店舗調査事業（緊急雇用創出事業）
- ・ まちなかテント市事業への支援（再生まつりとの共催）
- ・ まちなか観光コーディネート事業（緊急雇用創出事業）
- ・ 創業者等の支援



担当課	評価ランク
観光交流課	B

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
まちなかイベント入り込み客数	104,600人	114,400人	135,000人 115,000人	160,000人 125,000人

この分野における現状

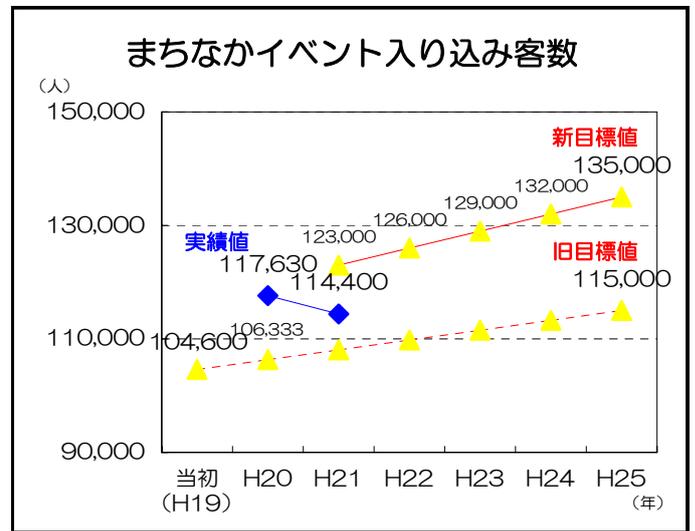
七尾港と七尾駅を結ぶ2核1軸構想の実現を目指すため、シンボルロードの整備等をはじめとしたまちづくりに取り組んできた。今後は、観光客等に特産品（新鮮な魚介類や水産加工品等）を販売し、市街地の飲食店（寿司、七尾御膳等）にも波及するオリジナルメニュー（ランチ）を提供し、地域経済の活性化に取り組む。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 歴史文化、街並み、生活（暮らし）体験のメニューの充実を図る
- ・ 観光関連情報のワンストップ化
- ・ 二次交通の促進強化
- ・ 観光情報の提供やトイレ提供店舗の拡大
- ・ 山の寺寺院群の魅力付け

平成22年度主要事業

- ・ 魅力あるイベントの開催（MJF、港まつり、花嫁のれん展）
- ・ 府中七尾駅線二期区間整備事業（シンボルロード）
- ・ まちなか観光魅力アップ推進事業（七尾まちなかテント市等）
- ・ 能登食祭市場において観光案内所の人的配置
- ・ まちなかふれあい駐車場整備事業・文歴の道整備事業



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(1) 子どもの健全育成

担当課	評価ランク
子ども教育課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
学校の決まりを守っていないという小学生の割合	25.0%	15.9%	12.0%	10.0%

この分野における現状

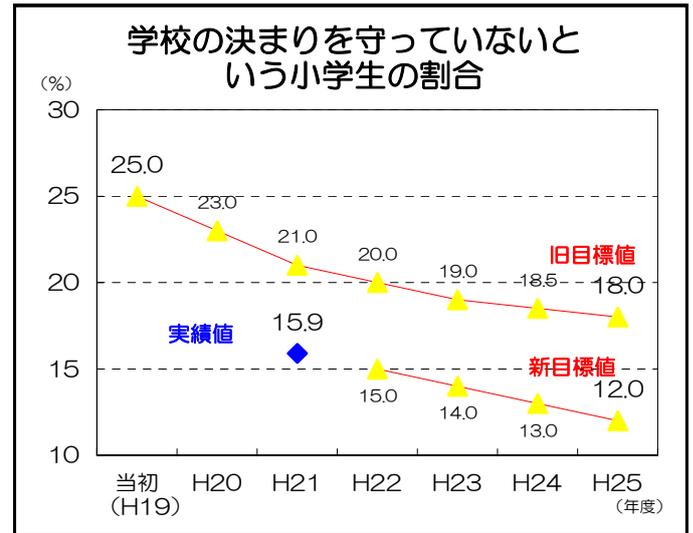
- ・核家族化の進展と地域連帯感の希薄化
- ・子どもの規範意識や道徳心の低下
- ・子どもの体力・運動能力の低下と生活習慣の変化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・家庭における保護者の責任の自覚啓発
(保護者間における意識の格差)
- ・核家族化等による子どもたちの人間関係の希薄化
- ・子どもと地域のつながりの弱体化
- ・家庭における生活習慣の未定着

平成22年度主要事業

- ・伸ばせ！七尾っ子プロジェクト
- ・夏休みにおけるラジオ体操実施の強化
- ・総合学習の時間を活用したふるさと教育の推進
- ・青少年リーダーの育成 ・地域活動、公民館活動への参加促進
- ・ヒューマン・コミュニケーション・プロジェクトなお



担当課	評価ランク
子ども教育課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
将来の夢や目標がないという中学生の割合	32.0%	34.4%	21.0%	10.0%

この分野における現状

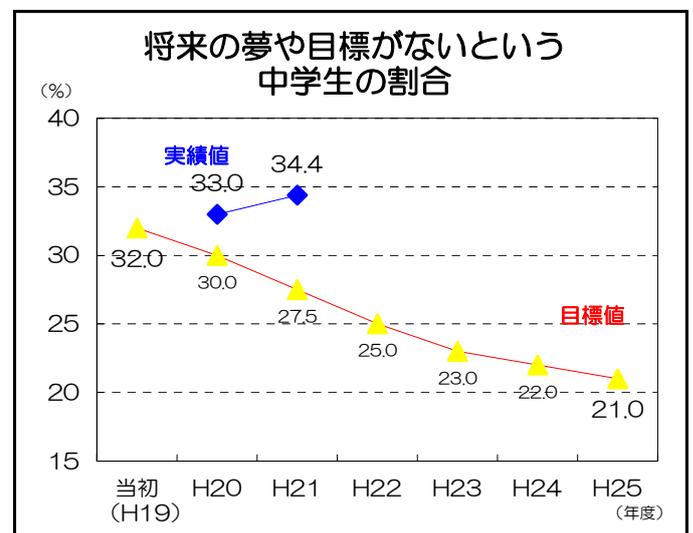
- ・核家族化の進展と地域連帯感の希薄化
- ・子どもの規範意識や道徳心の低下
- ・子どもの体力・運動能力の低下と生活習慣の変化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・目標を持たない子どもたちの増加
- ・目標がないことによる学習意欲の低下
- ・地域・家庭における生活習慣の悪化

平成22年度主要事業

- ・親子ドリームプロジェクト
- ・わく・ワーク体験事業 (中2 職場体験)
- ・キャリア教育の推進



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(2) 教育環境の充実

担当課	評価ランク
子ども教育課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
中学校における不登校生徒の割合	3.22%	2.65%	2.00%	1.00%

この分野における現状

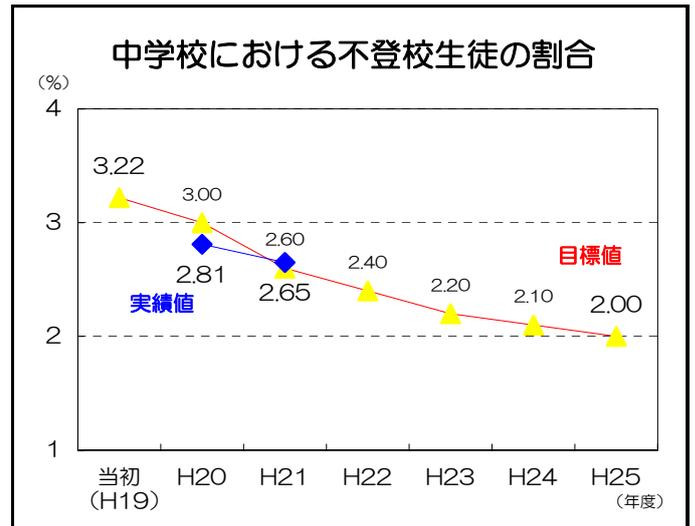
- ・児童生徒の減少と学校の小規模化
- ・児童の置かれている環境の多様化
- ・児童生徒を取り巻く犯罪やいじめ・不登校の増加

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地域の拠点である学校施設と統廃合計画
- ・あるべき教育環境への住民理解
- ・空き校舎の利活用策の検討
- ・児童生徒の人間関係の的確な把握

平成22年度主要事業

- ・七尾市立小中学校教育環境づくり検討委員会
- ・中学校統廃合計画の推進
(東エリア、西エリア、北エリア)
- ・学校経営アドバイザーの配置



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(3) 学校教育体制の強化

担当課	評価ランク
子ども教育課	特A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
学力調査で市平均が県平均を上回る教科数	4教科	7教科	10教科 半数以上	すべての教科

この分野における現状

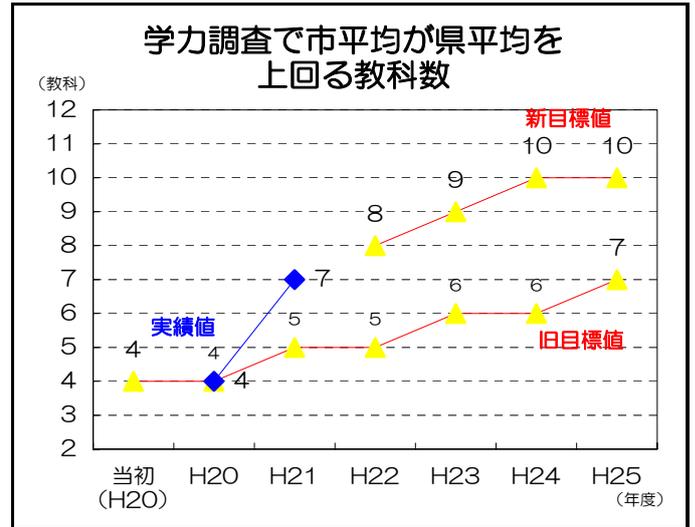
- ・基礎学力の向上とグローバル化への対応
- ・教職員の資質向上
- ・保護者や地域住民に信頼される学校づくり

目標達成に向けた具体的な課題

- ・家庭学習の定着化
- ・児童生徒の生活習慣の改善
- ・学力の二極化に対する対応
- ・適正規模化による児童生徒同士の切磋琢磨
- ・適正規模化による指導体制の確立
- ・教育支援センターの活用

平成22年度主要事業

- ・七尾市学力向上対策委員会
- ・学校組織力向上研修会
- ・保護者による学校評価の実施
- ・七尾市立学校職員表彰



担当課	評価ランク
子ども教育課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
授業に対する児童生徒の理解度	36.5%	44.0%	50.0%	70.0%

この分野における現状

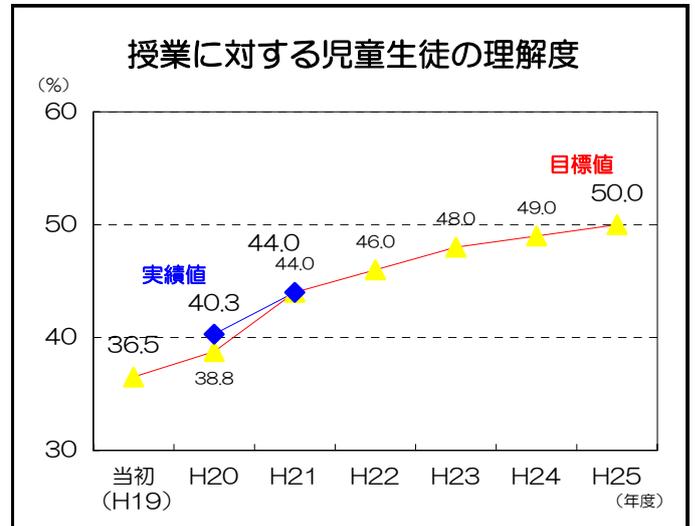
- ・基礎学力の向上とグローバル化への対応
- ・教職員の資質向上
- ・保護者や地域住民に信頼される学校づくり

目標達成に向けた具体的な課題

- ・七尾市学力向上対策委員会
- ・学校組織力向上研修会
- ・保護者による学校評価の実施
- ・PDCAサイクルによる個に応じた学力の定着化

平成22年度主要事業

- ・七尾市学力向上対策委員会
- ・学校組織力向上研修会
- ・保護者による学校評価の実施
- ・七尾市立学校職員表彰



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(1) 生涯学習の推進

担当課	評価ランク
生涯学習課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
市民一人当たり年間公民館利用回数	3.8回	3.7回	4.2回	4.5回

この分野における現状

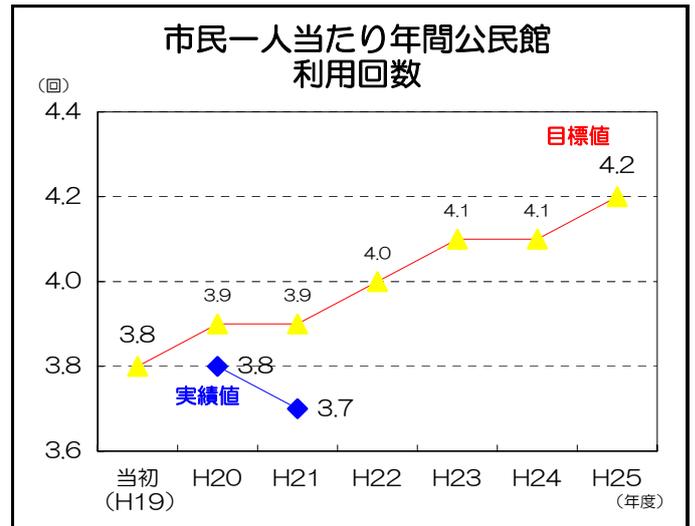
・各公民館は、それぞれ地域の拠点施設として地域住民のふれあいとコミュニティ活動の推進を図っている。

目標達成に向けた具体的な課題

・公民館活動の一環として地域文化の継承と各種団体の活動維持・推進（人材の確保や底辺の拡大を図る。）
 ・生涯学習ニーズの多様化（マンネリ化することのないよう新しい学習プログラムが必要である。）

平成22年度主要事業

- ・公民館自主活動支援事業
- ・公民館管理運営事業
- ・公民館連絡協議会運営事業
- ・市民大学講座開催事業



担当課	評価ランク
中央図書館	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
市民一人当たり年間利用冊数	6.2冊	6.8冊	7.0冊	8.0冊

この分野における現状

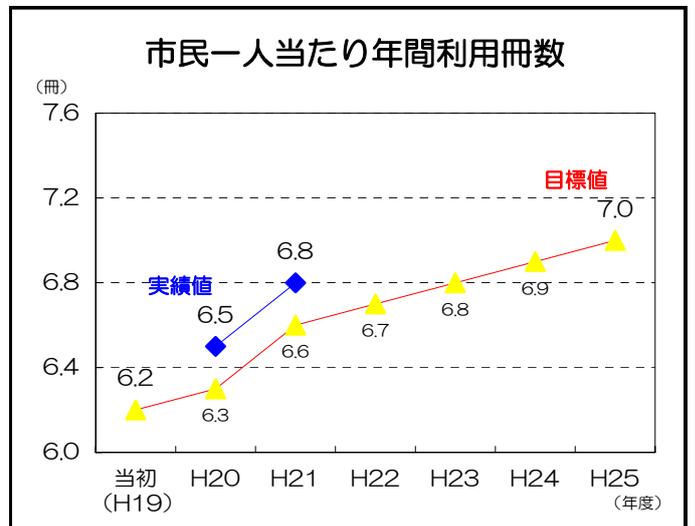
利用冊数は、当初の目標値を達成している。昨年に比べ、図書購入も少しだが増額している事も一因である。又、あらゆる面で地道な努力をしている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・利用者のニーズに即した資料（図書・逐次刊行物・AVなど）の充実
- ・子どもの読書活動推進
 移動図書館車「本は友だち号」の更新、ブックスタート事業など
- ・市内及び県内図書館との物流と連携

平成22年度主要事業

- ・図書館資料と施設の充実
- ・子どもの読書活動推進事業
- ・より利用しやすい図書館をめざす



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(2) スポーツの振興

担当課	評価ランク
スポーツ振興課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率(市民アンケート)	23.1%	20.2%	40.0%	50.0%

この分野における現状

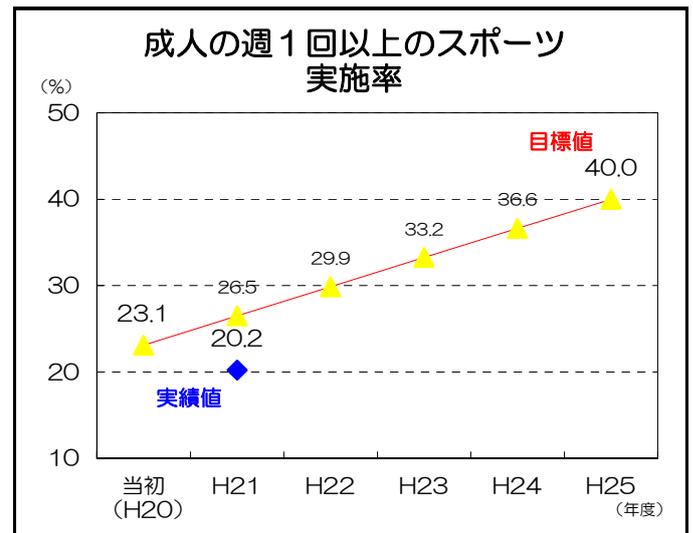
・総合型地域スポーツクラブへの更なる支援や新任の体育指導員に対する育成支援を行い始めている。

目標達成に向けた具体的な課題

・地域住民自らが参加したくなるスポーツ活動やニュースポーツの導入が求められている。

平成22年度主要事業

- ・能登和倉万葉の里マラソン2011
- ・第6回市民体育大会
- ・ドリームサッカー
- ・ウオータースポーツ全国大会
- ・第5回スポーツレクリエーション祭



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(3) 国際交流の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
姉妹・友好都市との交流人口	149人	98人	160人	170人

この分野における現状

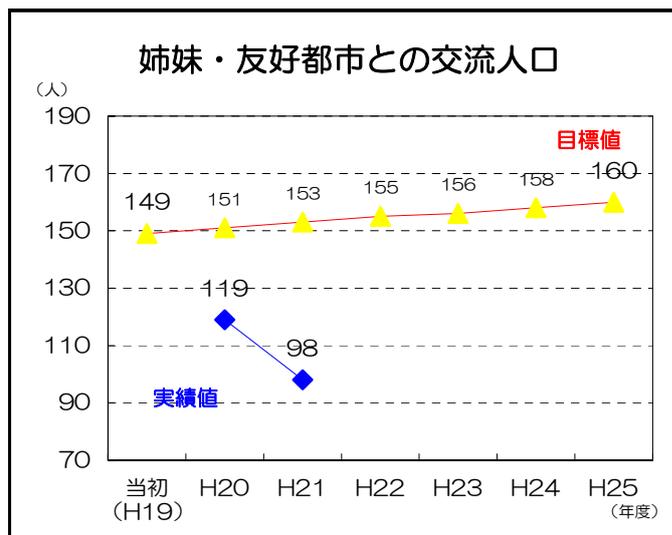
- ・姉妹都市等の交流事業と市内在住外国人との多文化が共生する地域づくり
- ・国際交流員1名の配置(中国大連市)

目標達成に向けた具体的な課題

- ・幅広い分野における市民交流の促進
- ・各担当課との連携
- ・国際交流協会の連携

平成22年度主要事業

- ・ブラーツク市・七尾市姉妹提携40周年記念訪問事業
- ・七尾市・金泉市中中学生交流事業
- ・金泉市職員職務体験交流事業



分野別目標達成状況

3 教育
3 人権尊重・男女共同参画の推進
(1) 人権尊重の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
人権が尊重されているまちづくりが進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	23.4%	19.6%	26.0%	28.0%

この分野における現状

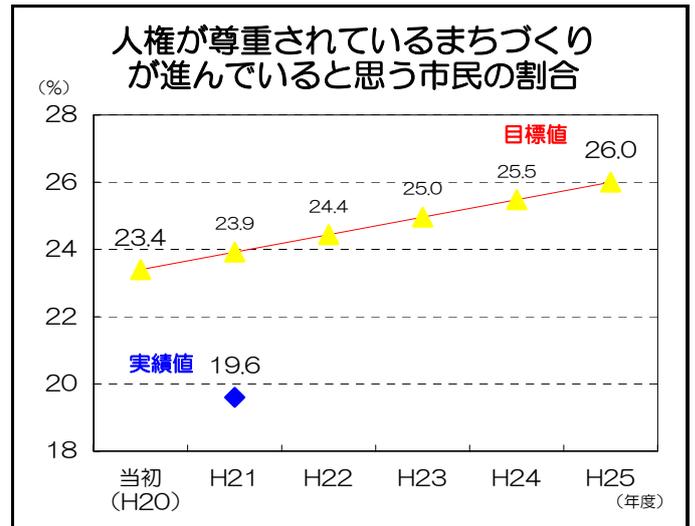
小中学校児童生徒を対象にした人権擁護標語募集や法務局及び人権擁護委員との連携による啓発活動を定期的に行う。また、民生児童委員と人権擁護委員により毎週水曜日に市民相談を受け市民の安心安全に努める。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・子ども、高齢者、障害のある人等へのいじめや虐待等の人権侵害が絶えない。
- ・市民相談が複雑、多様化している。市民への相談業務PRを図る。

平成22年度主要事業

- ・人権擁護啓発標語募集事業
- ・人権同和問題講演会開催事業
- ・法務局、人権擁護委員との連携による人権啓発活動



分野別目標達成状況

3 教育
3 人権尊重・男女共同参画の推進
(2) 男女共同参画の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
男女共同参画が進んでいると思う市民の割合 (市民アンケート)	27.8%	26.5%	31.0%	33.0%

この分野における現状

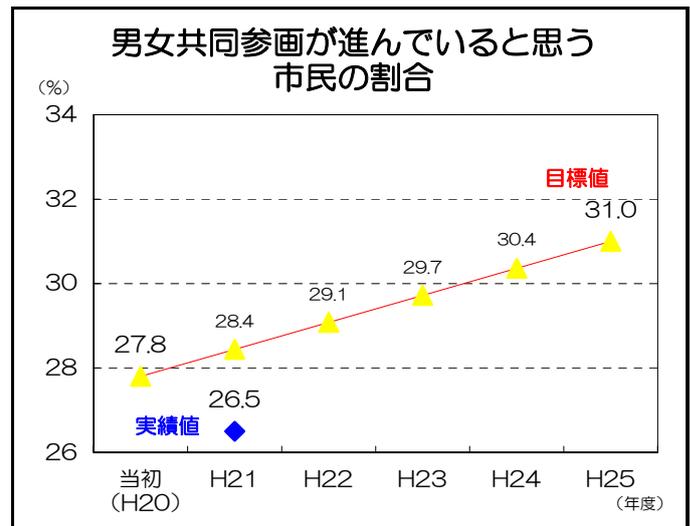
若年層は抵抗なく受け入れられているが、高齢層は未だ一部受け入れられていない部分がある。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 審議会等の女性の登用率の向上
- ・ 家庭・事業所・行政が一体となったの事業推進

平成22年度主要事業

- ・ 七尾市男女共同参画第2次プラン作成
- ・ 七尾市男女共同参画都市宣言5周年事業



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
1 歴史・伝統文化の振興
(1) 歴史・文化遺産の保全と活用

担当課	評価ランク
文化財課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合 (市民アンケート)	53.6%	57.4%	58.6% 55.0%	60.0%

この分野における現状

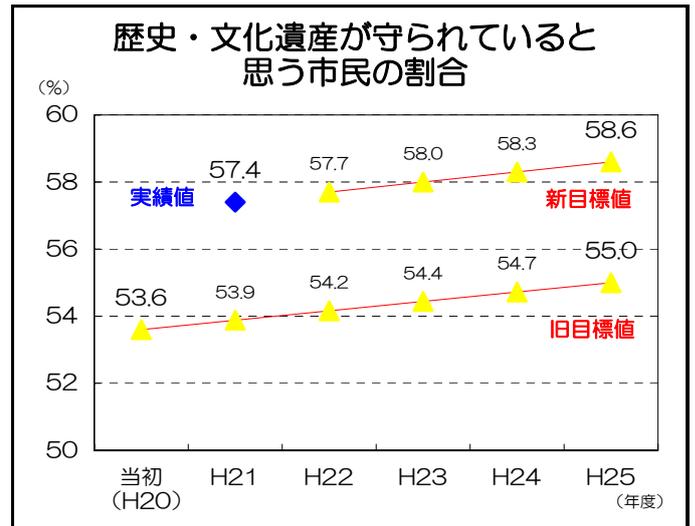
- ・文化財、文化財公開施設マップの作成、配布や誘導看板を設置及び七尾検定を実施しながら普及活動を実施。
- ・文化財パトロールを定期的を実施し、状態を確認。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・市民、事業者の相互理解。
(歴史・文化遺産の所在や重要性の認識がまだまだ薄い)
- ・市民、行政の連携。
(歴史・文化遺産の普及活用が不十分)

平成22年度主要事業

- ・市史編さん事業
- ・七尾学推進事業 (七尾検定)
- ・七尾城跡調査整備事業 (追加指定)
- ・万行遺跡整備事業



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
1 歴史・伝統文化の振興
(2) 伝統的祭り行事の振興

担当課	評価ランク
観光交流課	B

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
七尾四大祭り入り込み客数	204,000人	205,000人	250,000人	300,000人

この分野における現状

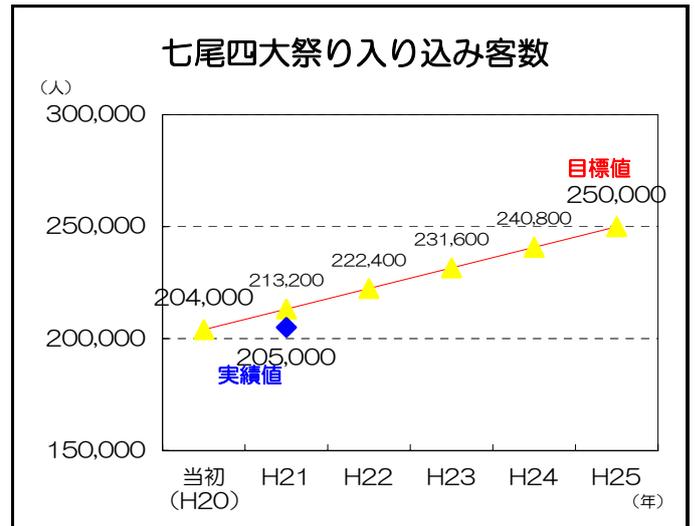
祭り情報を全国に発信し、祭りを核とした旅行商品による誘客促進に取り組んでいる。しかし、観光客のニーズが多様化により、今後は祭りのガイドを育成し、観光客の受入体制の強化を図る必要がある。また、無形文化財の後継者育成や地域の伝統的祭りを支援し、伝統的祭りの継承・発展に努める。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・祭り・イベントの共同PRを実施し、市外からの観光客の誘客
- ・地域の観光資源も活かした年間を通じての周遊観光コースの開発
- ・観光客の受け入れ体制の充実（まつりガイドの養成等）
- ・観光ブースの出展
- ・旅行雑誌掲載（雑誌編集記者の招へい）

平成22年度主要事業

- ・青柏祭でか山、石崎奉燈祭、向田火祭、お熊甲祭開催事業
- ・国指定無形文化財後継者育成事業
- ・でか山ガイド養成講座の開催
- ・でか山ガイドの実施



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
2 芸術文化の振興
(1) 優れた芸術・文化体験の創出

担当課	評価ランク
文化振興課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
七尾美術館観覧者数	23,348人	39,980人	38,000人 36,000人	41,000人

この分野における現状

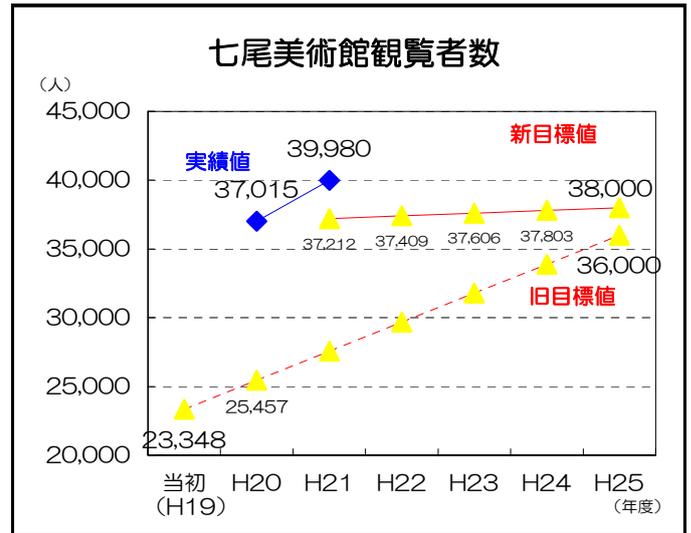
入館者数を左右するのは、どんな企画展をするのかである。昨年の入館者数は、特に人気のあった「山下清展」によるところが大きい。魅力ある企画展を展開するには、それ相応の事業費も必要である。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・入館者増につながる展覧会の企画
- ・効果的なPR活動

平成22年度主要事業

- ・開館15周年記念「土門拳の昭和」展、「等伯をめぐる画家たち」
- ・イタリアボローニャ国際絵本原画展
- ・池田コレクション、所蔵品展



担当課	評価ランク
文化振興課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
能登島ガラス美術館観覧者数	43,078人	46,975人	55,000人	60,000人

この分野における現状

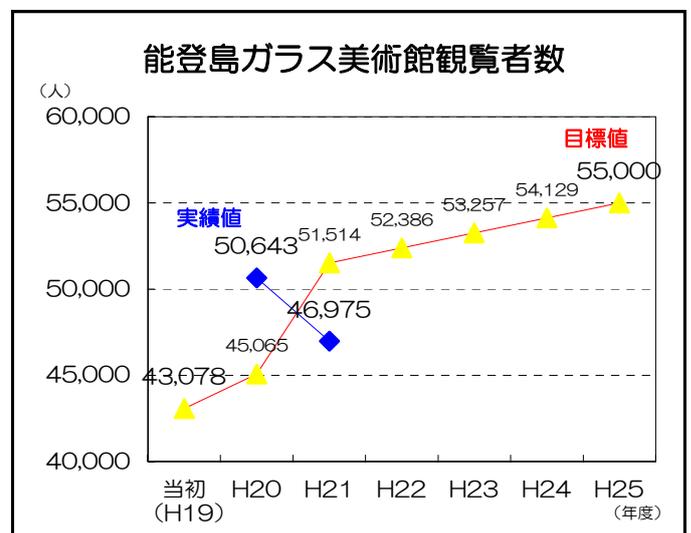
一般の美術館には無い親しみやすさが当館の特徴であり、多くの観光客が訪れている。片岡鶴太郎など著名で魅力的な作家の企画展を実施して入館者増となっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・入館者増につながる展覧会の企画
- ・効果的なPR活動

平成22年度主要事業

- ・片岡鶴太郎ガラス作品展
- ・ガラスの水族館
- ・国際ガラス展・金沢2010 in 能登島
- ・中国清朝のガラス



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
2 芸術文化の振興
(2) 地域に根ざした演劇文化の振興

担当課	評価ランク
文化振興課	特A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
能登演劇堂鑑賞者数	19,231人	45,714人	24,000人	28,800人

この分野における現状

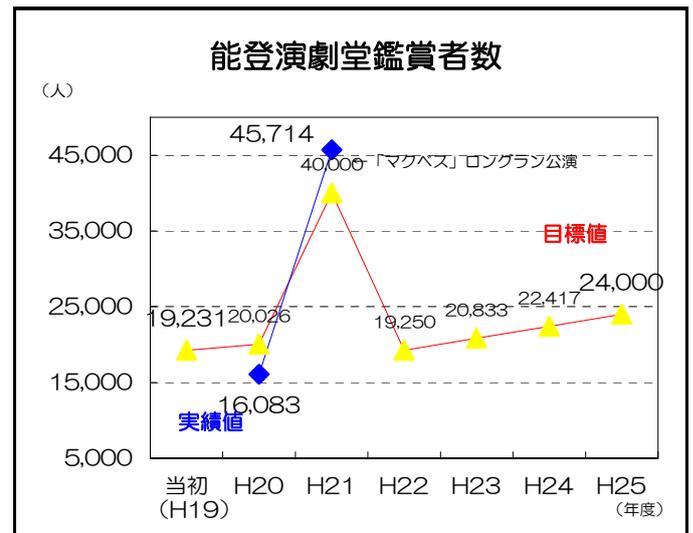
利用者は、公演事業と一般事業に別れ、経営の軸となるのは財団の自主事業である主催公演の充実である。観客数を維持し、更に増加を図るには、公演日数を多くし広域的誘客をしなければ達成できない。中、長期的公演は組織的取り組みが必要である。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・広域的誘客ができる公演回数を持った事業を増やしていく企画をする。
- ・友の会会員獲得に努める。

平成22年度主要事業

- ・2010能登七尾演劇祭の開催
- ・無名塾公演「炎の人」11回、市民劇団N公演「夕鶴」3回公演
- ・友の会公演4回、一般公演3回実施
- ・無名塾・七尾市交流25周年展開催



分野別目標達成状況

5 自然環境
1 自然環境・景観の保全
(1) 自然環境の保全

担当課	評価ランク
環境安全課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
七尾市の豊かな自然環境が守られていると思う市民の割合（市民アンケート）	41.3%	41.7%	50.0%	60.0%

この分野における現状

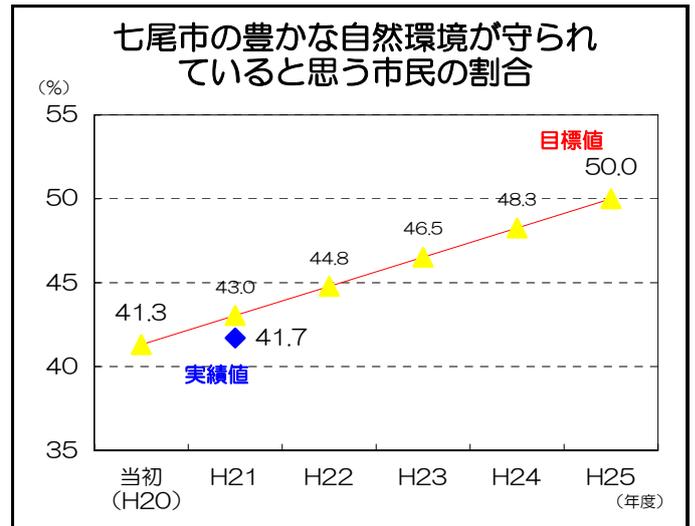
・七尾市は、豊かな自然環境と調和して人々の暮らしが営まれてきた。しかし、近年、産業構造の変化や開発等の影響により、農地や山林、水辺環境への環境が問題になっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・身近な自然環境の保全
- ・地域固有の生物の生育環境の保護
- ・市民主体の環境共生、ふれあい活動の推進

平成22年度主要事業

- ・水質調査(海域、河川、湖沼、地下水、名水)
- ・七尾市野生動植物生育等調査委員会による調査
- ・水生生物調査、スターウォッチングの実施



分野別目標達成状況

5 自然環境
1 自然環境・景観の保全
(2) 魅力ある景観の形成

担当課	評価ランク
都市建築課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
七尾らしい魅力ある景観が形成されていると思う市民の割合（市民アンケート）	32.7%	34.5%	40.0%	45.0%

この分野における現状

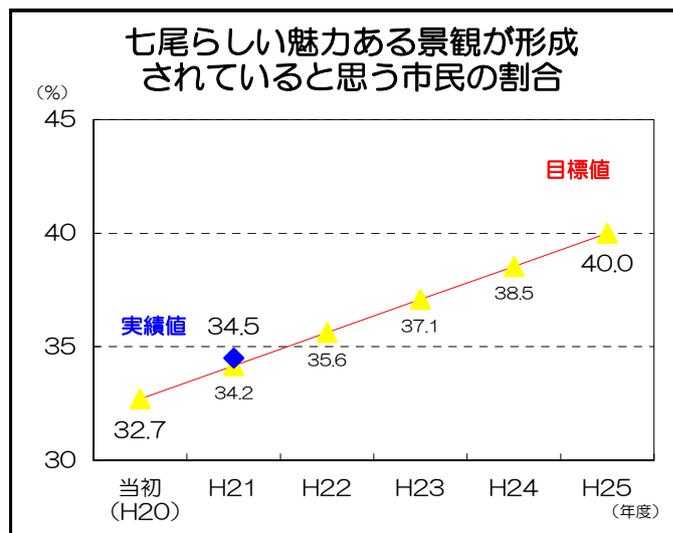
経済活動に伴う開発や建物の建替え等で、年々七尾らしい景観が失われてきている。七尾市景観計画に基づき規制誘導を行っている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・規制の及び届出対象は一部であり、届出対象外の建物や工作物に対して啓蒙、指導のできる基準が必要
- ・景観を特に守るべき地区では、住民の合意を得て、景観誘導を強める必要がある。

平成22年度主要事業

- ・景観ガイドラインの作成
- ・景観まちづくり活動支援事業
- ・御祓川大通りアドプト制度発足
- ・和倉地区景観協定策定



分野別目標達成状況

5 自然環境
2 地球環境の保全
(1) 地球温暖化対策の推進

担当課	評価ランク
環境安全課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
家庭において温暖化防止対策の取り組みにより削減したCO ₂ の量	10,606kg	81,129kg	97,129kg +14,000kg	117,129kg 20,000kg

この分野における現状

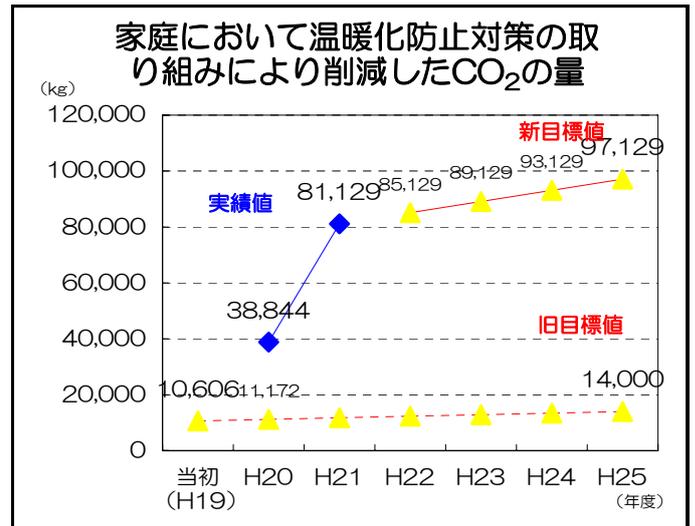
- ・平成18年度から、石川県エコライフ大作戦に参加している
- ・年度により、二酸化炭素削減にかかる取り組み内容が異なる

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地球温暖化対策に向けた実践活動の目的、及び内容の周知徹底
- ・地球温暖化に対する意識の醸成

平成22年度主要事業

- ・県民エコライフ大作戦の参加
県民総参加で、身近な省エネルギー・省資源活動を実践し、石川県環境総合計画の二酸化炭素排出削減目標達成の契機とするもので七尾市もこれに参加



分野別目標達成状況

5 自然環境
2 地球環境の保全
(2) 循環型社会の形成

担当課	評価ランク
環境安全課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
リサイクル率	18.6%	17.7%	20.2%	25.0%

この分野における現状

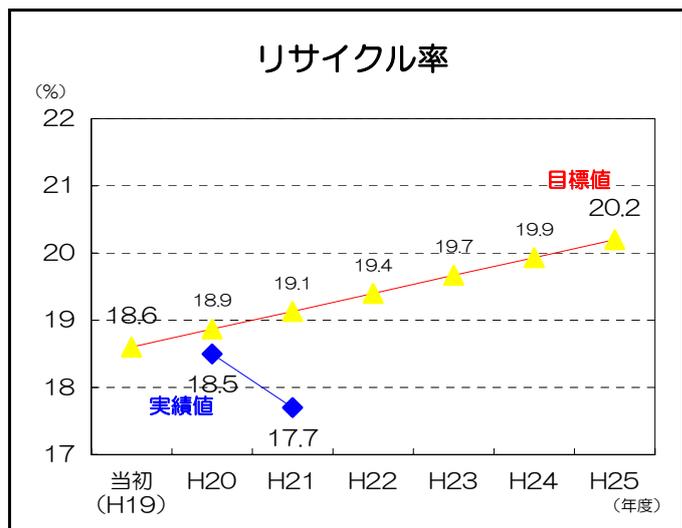
・ごみ全体の量は減少しているものの、資源ごみも減少している

目標達成に向けた具体的な課題

・可燃ごみや埋立ごみに混入されている資源物の徹底した分別

平成22年度主要事業

・常時開設資源ごみステーションの設置事業
・資源物回収事業推進奨励金交付事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(1) 子育て支援体制の充実

担当課	評価ランク
子育て支援課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
子どもを子育てしやすい環境が整っていると思う市民の割合 (市民アンケート)	30.6%	33.5%	40.0%	50.0%

この分野における現状

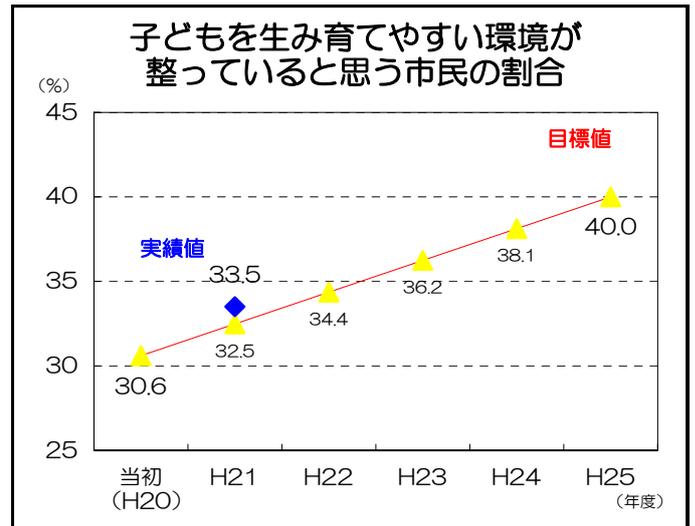
- ・核家族化が進展しており、保育のニーズはますます多様化している。
- ・離婚に伴うひとり親家庭が増加傾向にある。
- ・市内の公立、私立すべての保育園で延長保育、一時預かりを実施している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・保育ニーズの多様化への対応 (休日保育実施箇所の増、延長保育の拡充等)
- ・子育てにかかる経済的負担の軽減 (保育料軽減、子ども医療費助成制度拡充等)
- ・ひとり親家庭の増加への対応 (ひとり親家庭支援制度の拡充)

平成22年度主要事業

- ・特別保育事業 (一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育等)
- ・放課後児童クラブ事業
- ・子ども医療費助成事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(2) 子ども親も共に育つ環境づくりの推進

担当課	評価ランク
子育て支援課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
子育て支援拠点施設利用人数	16,754人	22,795人	23,000人 17,000人	23,000人 17,000人

この分野における現状

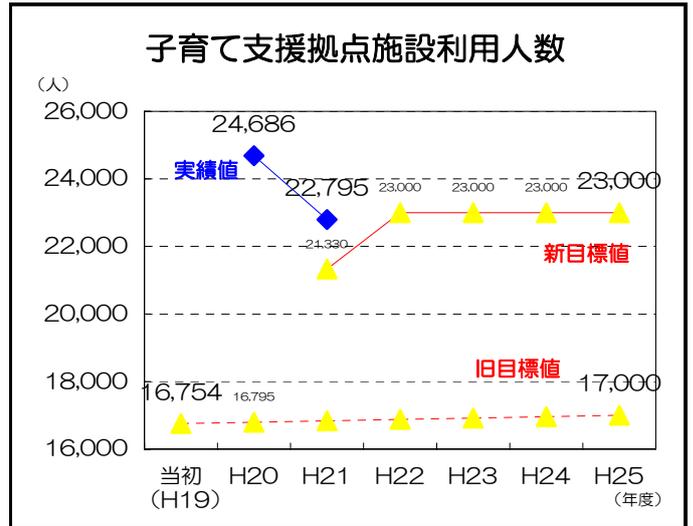
- ・核家族化などにより、子どもたちが集団で遊ぶ機会が減少している。
- ・子育てに係るストレスや家庭における養育力の低下が見られる。
- ・平成20年度から七尾サンライフ児童センターを子育て支援拠点施設として運用している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・子育て拠点施設の機能の充実
(地域へ出向いての出張ひろばの実施等)
- ・利用しやすい環境づくり(施設の改修、対象世帯への啓発活動)
- ・地域の子育て力を高める取り組みの実施
(ボランティア等の人材育成と活動支援)

平成22年度主要事業

- ・子育て拠点事業(地域子育て支援センター)
- ・みらい子育てネット(母親クラブ)運営事業
- ・児童館管理運営事業
- ・児童公園管理事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(3) 母子保健の充実

担当課	評価ランク
健康推進課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 育児の心配・困りごとがある保護者の割合	12.1%	12.1%	10.0%	8.0%

この分野における現状

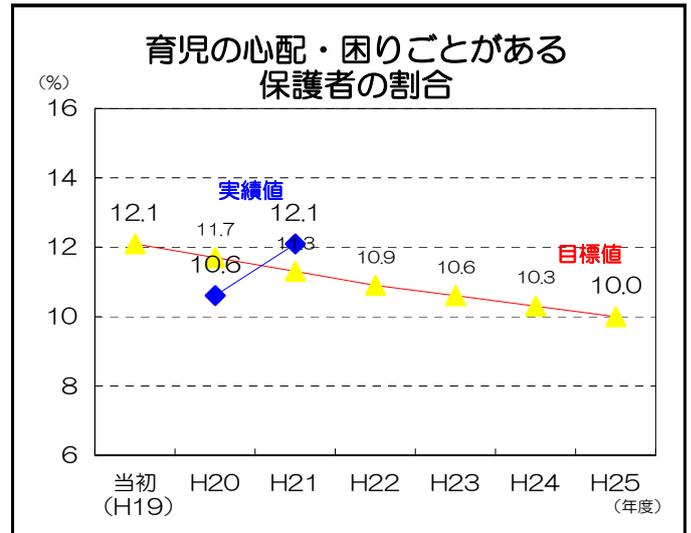
核家族化の進行等により、身近に相談相手や支援する人がおらず、育児に関する不安から子育てのストレスに繋がりがやすい。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・初めての子育てによる育児不安の解消
- ・子どもの成長に伴う育児不安の解消
- ・保護者の育児力の育成
(子どもの発達を理解と対応に対する学習が不足している)

平成22年度主要事業

- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業
- ・養育支援家庭訪問事業
- ・母の相談日
- ・すくすく相談
- ・ゆったり子育て相談



担当課	評価ランク
健康推進課	-

指標名	当初 (平成22年度)	現状 (平成22年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 毎日朝食を食べる習慣のある子どもの割合	92.9%	92.9%	100.0%	100.0%

この分野における現状

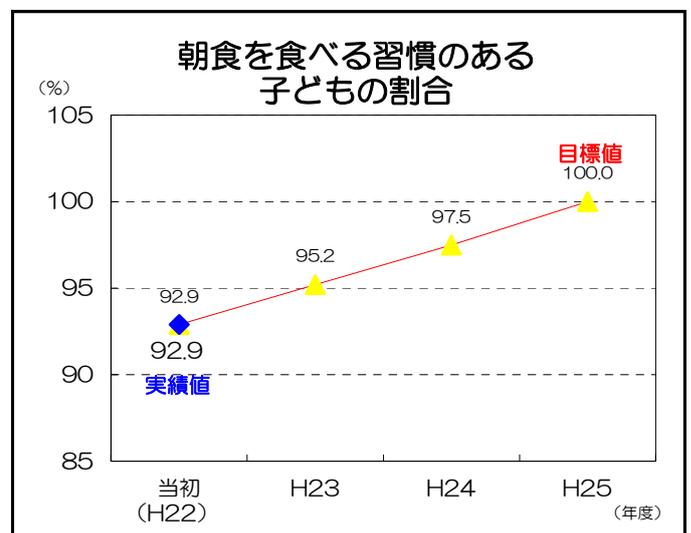
保護者の不規則な生活習慣から、夜型の生活や、朝食を欠食する子どもがいる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・保護者が「食べる」ことの大切さを認識し、「食」を通して子どもを育てる。
- ・子どもが3食摂取の習慣を身につける。

平成22年度主要事業

- ・保育園等における食育
- ・3歳児健診での食指導
- ・子育て相談での食指導



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
2 健康づくり・医療の充実
(1) 生涯を通じた健康づくりの推進

担当課	評価ランク
健康推進課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
肥満の割合 (BMI 25以上)	32.0%	29.6%	22.0%	12.0%

この分野における現状

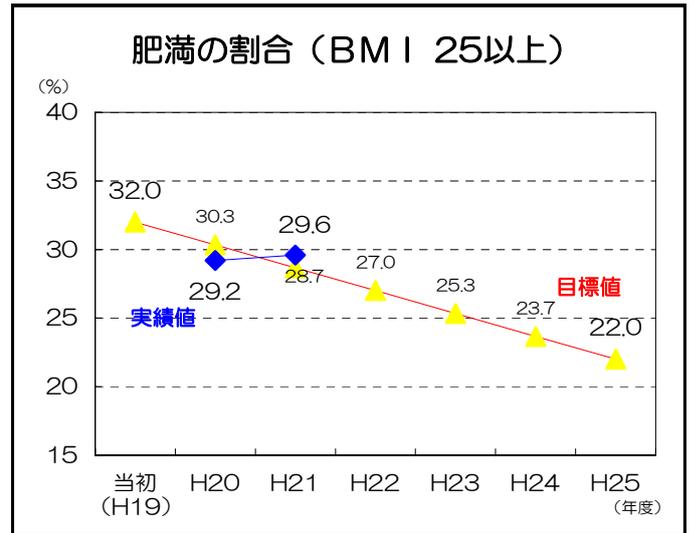
肥満の割合 BMI 25以上
 H20年度(確定値)⇒29.2% ワースト1位/県内19市町
 H21年度(中間値)⇒29.6% ワースト4位/県内19市町

目標達成に向けた具体的な課題

健康教室や個別指導を実施しているが、生活習慣改善意識には個人差がある。
 単年では、効果が出にくく継続的な保健指導が必要である。

平成22年度主要事業

- ・各地区健康教室
- ・生活習慣改善教室
- ・健康相談事業
- ・特定保健指導事業
- ・訪問指導事業



担当課	評価ランク
健康推進課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
ストレスを感じている市民の割合 (市民アンケート)	76.2%	74.8%	65.0%	50.0%

この分野における現状

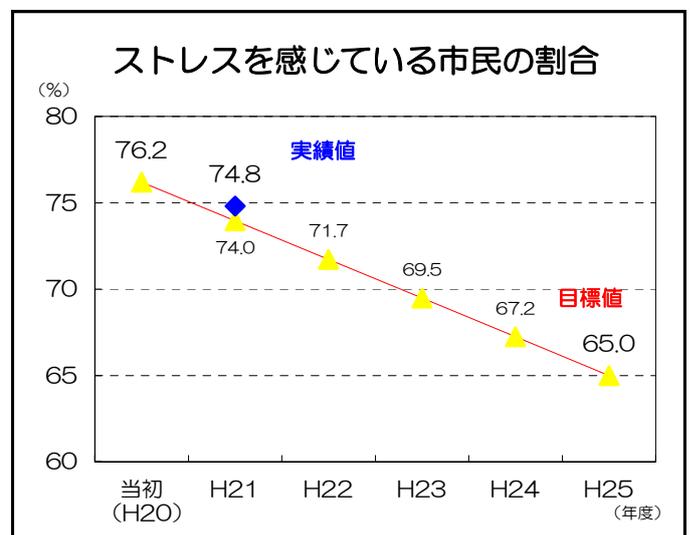
家庭や職場、対人関係などにおいて、多くの市民はストレスを抱えて生活しています。近年、多様化、複雑化する社会の中でストレスが増大し、心の健康を崩す市民が増えている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「こころの健康度チェック」をさらに広く実施
- ・正しいストレス解消法の普及

平成22年度主要事業

- ・心の相談事業
- ・こころの健康づくり教室
- ・心の健康スクリーニング
- ・訪問指導事業
- ・メンタルヘルス講演会



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
2 健康づくり・医療の充実
(2) 医療体制の充実

担当課	評価ランク
保険課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
医療体制が充実していると思う市民の割合 (市民アンケート)	49.8%	56.6%	60.0% 56.0%	62.0%

この分野における現状

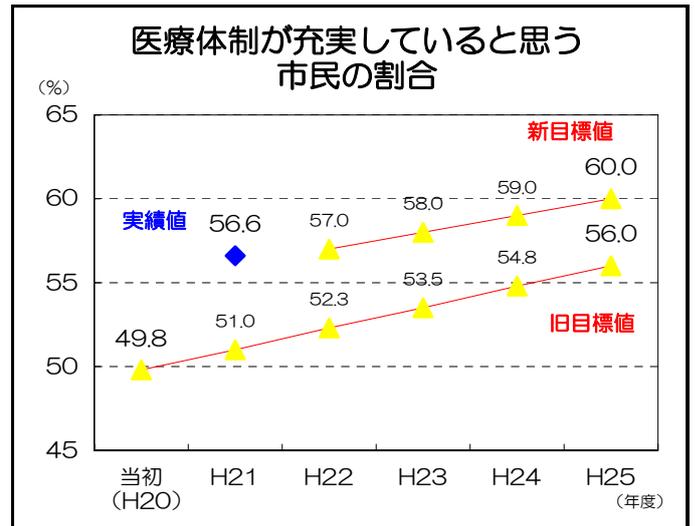
- ・ 深刻な医師不足による地域医療の停滞
- ・ 医療費の増大
(国民健康保険・後期高齢者医療保険)
- ・ 新たな高齢者医療制度への移行 (H25年度) 準備

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ シェネリック医薬品の普及促進
- ・ 保健活動の強化 (特定健診・腎疾患対策・重複多受診指導)

平成22年度主要事業

- ・ 公立能登総合病院の共同設置
- ・ 国保直営診療施設管理事業 (能登島診療所、鉦打診療所の運営)



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
3 高齢者福祉の充実
(1) 高齢者の自立と社会参加の促進

担当課	評価ランク
福祉課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
「いきがい」を感じて日常生活を送っている高齢者の割合 (市民アンケート)	63.4%	61.6%	65.0%	70.0%

この分野における現状

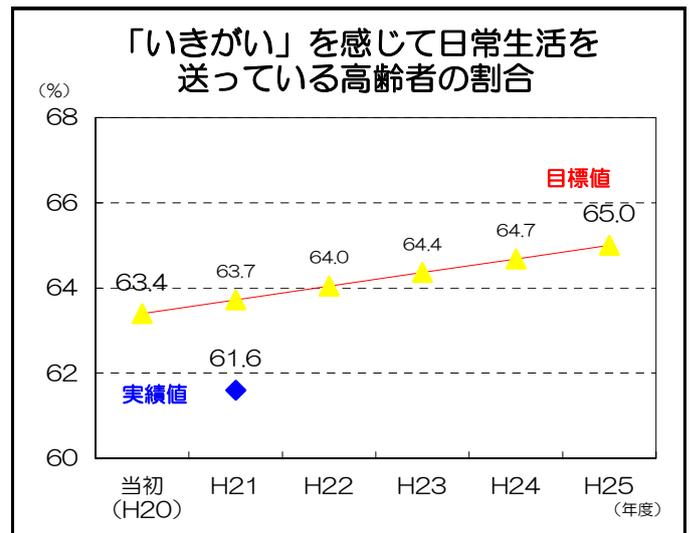
・高齢者の自主活動として、老人クラブが107クラブ活動中。(昨年は108クラブ)また、高齢者グループデイが6グループ活動中。(昨年は15グループ)
 ・高齢者が活躍できる場として、シルバー人材センターでの活動が挙げられる。会員数は増加傾向にある。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・高齢者が自身の知識や経験を活かし、活躍できる場の拡大
- ・高齢者が身近な場所でいきいきと活動できる場の充実
- ・高齢者の健康づくりの推進
- ・高齢者が安全に安心して生活できる環境づくり
- ・高齢者の権利擁護の啓発、相談体制の充実

平成22年度主要事業

- ・グループデイ事業等の介護予防事業
- ・高齢者虐待防止のための関係機関との連携



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
3 高齢者福祉の充実
(2) 介護支援体制の充実

担当課	評価ランク
保険課	A

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
要介護・要支援認定率	17.4%	17.8%	20.4%	22.0%

この分野における現状

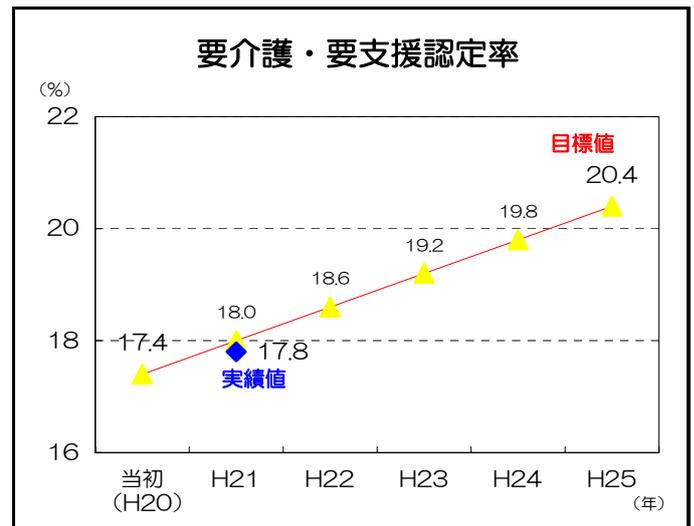
- ・要介護・要支援認定者は、高齢者の増加割合を上回って増加しており、介護給付費も年々増加している。
- ・高齢者の総合相談窓口機能の充実、介護予防や在宅介護支援の充実にむけ取り組んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・介護予防対象者の早期把握及び介護予防事業の充実
- ・地域包括支援センターの機能充実
- ・市民、事業所等の自立支援への意識改革

平成22年度主要事業

- ・特定高齢者把握事業
- ・介護予防事業(特定高齢者施策・一般高齢者施策)
- ・地域包括支援センター事業
- ・家族介護教室事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
4 障害者福祉の充実
(1) 障害者の自立と社会参加の促進

担当課	評価ランク
福祉課	B

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
障害者雇用率	1.89%	1.74%	2.00%	2.20%

この分野における現状

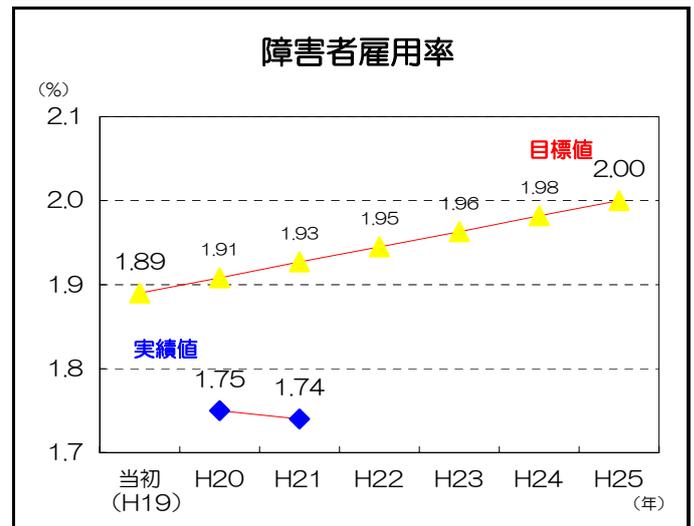
- ・雇用情勢は厳しい状況で推移しており、障害者雇用にも大きな影響を及ぼしている。
- ・障害者雇用率を上昇させるための障害者の就労支援制度を運用するなどの取り組みを継続実施している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・公共職業安定所との連携をさらに図り、障害者雇用枠での採用や職場実習の受け入れについて各企業経営者に理解を求める。
- ・障害の特性を理解してもらうための啓発を行う。

平成22年度主要事業

- ・七尾市・中能登町地域自立支援協議会の運営強化
- ・障害者福祉団体連絡協議会との連携強化



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
4 障害者福祉の充実
(2) 生活支援体制の充実

担当課	評価ランク
福祉課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
障害者が暮らしやすい環境が整っていると思う市民の割合 (市民アンケート)	23.6%	21.3%	37.0%	51.0%

この分野における現状

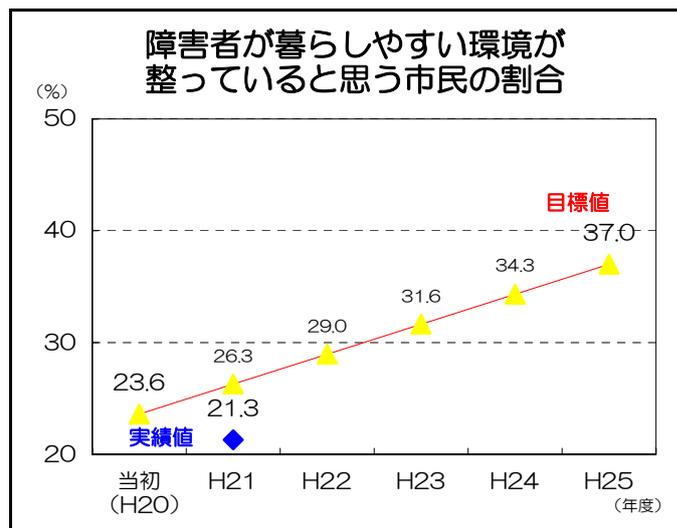
- ・建物のバリアフリーや歩道の点字ブロックなどハードの整備については徐々に進んでいる。
- ・障害者の抱く不安や感じている不便さを理解する「心のバリアフリー」の啓蒙を重要視している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・障害当事者が参加する協議会や各種団体で環境整備が進んでいない分野について協議する。
- ・各家庭や職場、学校等での諸問題を総合的に克服する体制づくりが急務である。

平成22年度主要事業

- ・七尾市・中能登町地域自立支援協議会の運営強化
- ・障害者福祉団体連絡協議会との連携強化



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
5 地域福祉・生活保障の充実
(1) 地域福祉の充実

担当課	評価ランク
福祉課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
支え合い、助け合うという意識が地域にあると思う市民の割合（市民アンケート）	44.0%	42.5%	51.0%	58.0%

この分野における現状

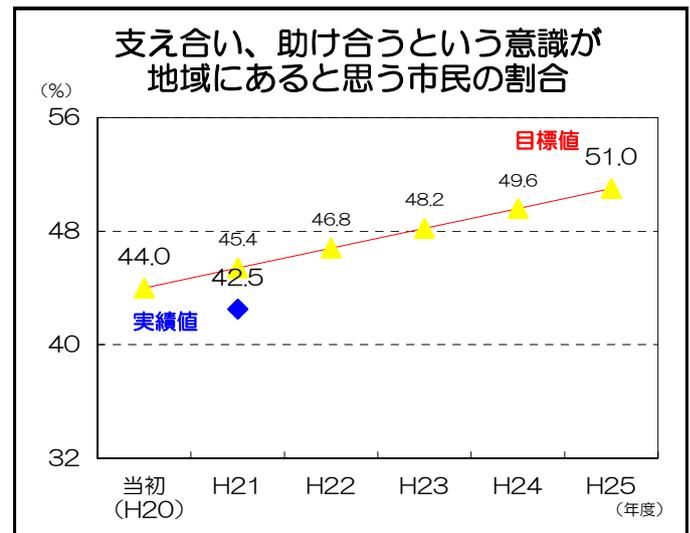
向こう三軒両隣の考え方を基に、「人と人が支え合う福祉でまちづくり」が、町会単位による支えあいの仕組みづくりを通し、徐々に進んできております。この仕組みづくりの推進には、福祉課、市社会福祉協議会が支援をしております。

目標達成に向けた具体的な課題

「福祉でまちづくり」は、町会単位としていることから、町会長を中心とした住民の理解と行動が大きな鍵となります。

平成22年度主要事業

「福祉でまちづくり」とする仕組みづくりに地域福祉ネットワークの形成を図ります。



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
1 防災対策の充実
(1) 防災体制の整備

担当課	評価ランク
環境安全課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
自主防災組織数	12団体	27団体	80団体	120団体

この分野における現状

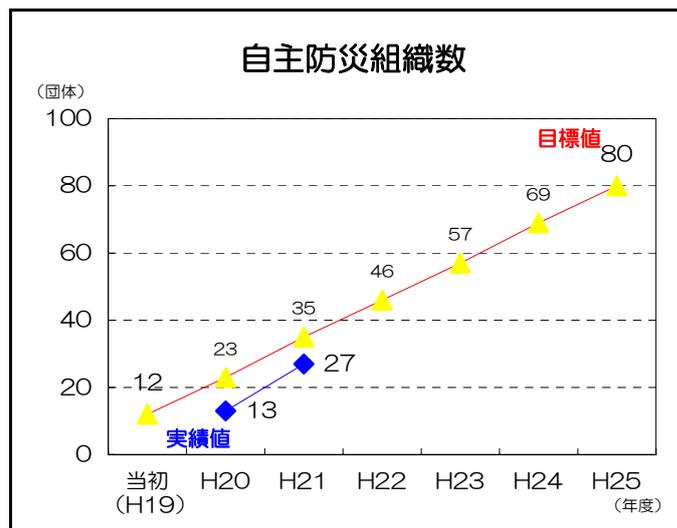
- ・各町会において、組織結成に向けた取り組みが進んでいる。
- ・行政としても組織結成に向け支援・協力をしている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・自助・共助の必要性の周知
- ・自主防災組織への支援

平成22年度主要事業

- ・自主防災組織の組織化研修会の参加



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
2 住環境の充実
(1) 住宅・緑地の整備

担当課	評価ランク
都市建築課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
良好な住環境が形成されていると思う市民の割合（市民アンケート）	38.6%	38.6%	45.0%	50.0%

この分野における現状

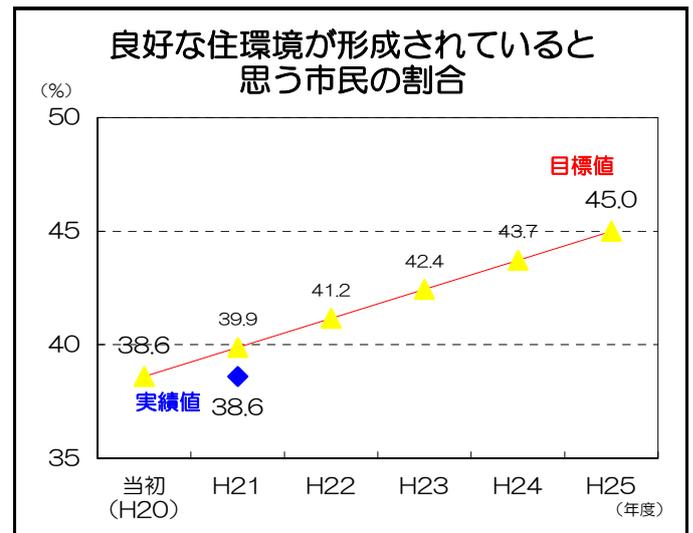
安心安全のベースとなる、防災上必要な6m道路に接していなかったり、憩いの場となる公園や緑地が十分とはいえない宅地が多い。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・既存の住宅地で都市施設の再整備は困難
- ・住宅需要の減少と多様化で新市街地での宅地化が進んでいない。

平成22年度主要事業

- ・七尾市万行地区土地区画整理事業
- ・(仮)まちかどふれあい広場整備
- ・共同住宅建設費補助



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
2 住環境の充実
(2) 防犯・交通安全対策の充実

担当課	評価ランク
環境安全課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
自主防犯組織数	20団体	21団体	25団体	30団体

この分野における現状

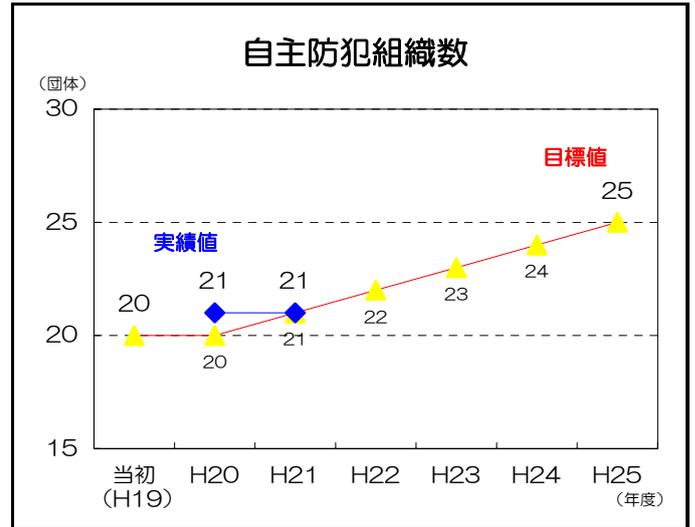
・防犯パトロールや鍵掛けキャンペーンなどを行うことで、住民の防犯意識の高揚をすすめている。

目標達成に向けた具体的な課題

・自主的な団体であるため、行政側からの押し付けが出来ない。

平成22年度主要事業

- ・鍵掛けキャンペーン
- ・地域防犯リーダー育成研修会
- ・青色パトロールカー出発式



担当課	評価ランク
環境安全課	S

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成21年)	平成25年	平成30年
交通事故発生件数	229件	200件	200件	180件

この分野における現状

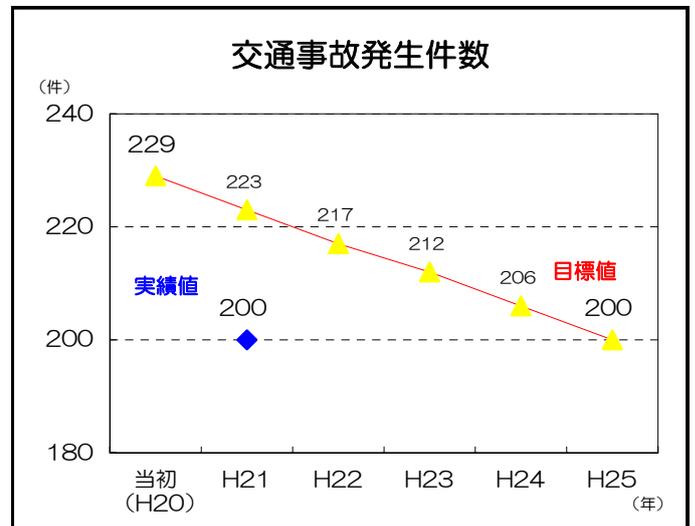
・交通事故自体は年々減少しているが、重大事故数は停滞している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ドライバーのマナー・モラルの向上
- ・夜行反射材の着用促進
- ・歩行者・自転車常用者の交通ルールの遵守

平成22年度主要事業

- ・幼児交通安全教室
- ・高齢者交通安全教室
- ・交通安全各種キャンペーン
- ・シルバーセーフティー事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(1) 環境衛生の推進

担当課	評価ランク
環境安全課	A

指標名	当初 (平成18年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
1人1日当たりのごみ排出量	1,171g/人・日	1,064g/人・日	1,026g/人・日	995g/人・日

この分野における現状

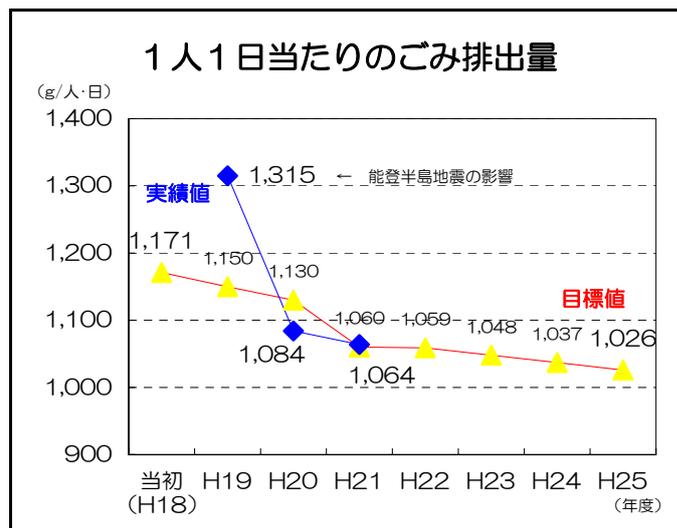
・ごみ全体の量は減少しているものの、人口の減少に伴わない。

目標達成に向けた具体的な課題

・可能な限り、物をむだに消費しない生活スタイルを心がける。

平成22年度主要事業

- ・ごみ分別説明会
- ・家庭用ごみ減量化機器設置補助金事業
- ・資源物回収事業推進奨金交付事業
- ・快適環境づくり推進事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(2) 安定した水の供給

担当課	評価ランク
水道課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
有収率	88.5%	88.3%	91.0%	93.5%

この分野における現状

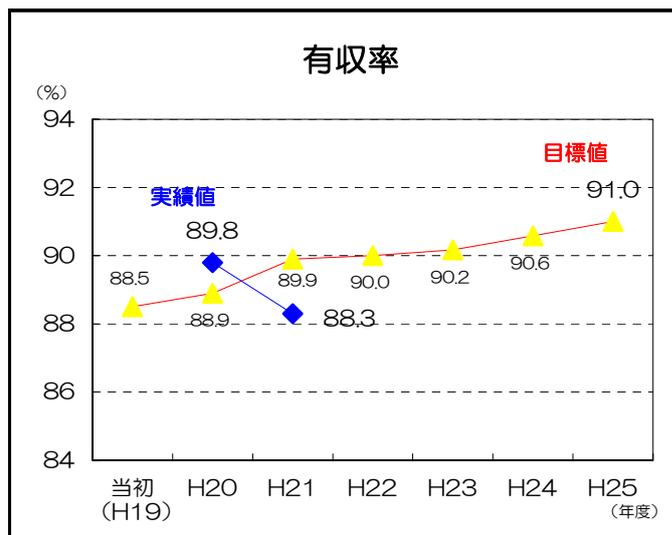
目標値より1.6%低い値となった。
要因は、水道施設の老朽化の進行、施設更新の遅れによる漏水事故によるものと思われる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・老朽管の更新（石綿管等）の着実な更新
- ・漏水事故の迅速処置、応急資材の備蓄を拡充
- ・給水管布設替促進
- ・水道管理施設の整備、更新

平成22年度主要事業

- ・有収率の低い中島、田鶴浜地区の漏水管調査・処置
- ・石綿管、老朽管等の水道施設更新
- ・漏水事故に対する迅速処置



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(3) 下水道等の整備

担当課	評価ランク
下水道課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
御祓川の水質 (BOD)	7.2mg/L	7.2mg/L	5.0mg/L	5.0mg/L以下

この分野における現状

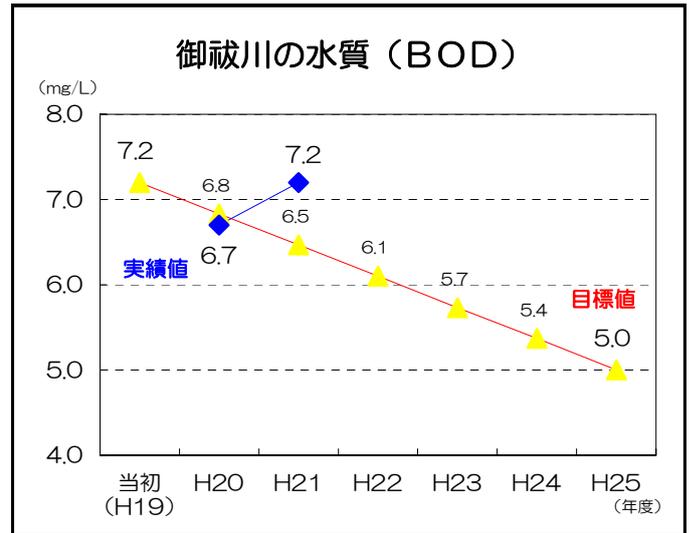
- ・目標値より0.7ポイント高い値となった。
- ・御祓地区の市街地において、一部下水道が未整備であることが要因と思われる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・七尾地区での下水道普及率は平成22年3月末で57.7%となり、昨年より3.0ポイント向上しているが、低い状況にあり、今後更に下水道整備を積極的に進める必要がある。
- ・下水道整備を進め普及率を上げても接続が無ければ効果が発生しないことから、接続率の向上に更に努める必要がある。

平成22年度主要事業

- ・公共下水道の推進
- ・合併処理浄化槽の推進



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
4 交通体系の充実
(1) 道路網の整備

担当課	評価ランク
能越道建設推進課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
七尾市中心市街地～名古屋間の所要時間（道路）	4時間10分	4時間5分	3時間20分	3時間20分

この分野における現状

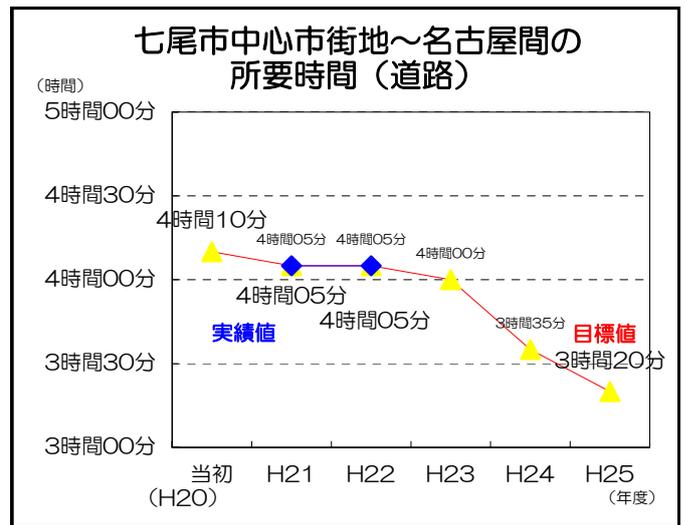
氷見北IC～小矢部砺波JCT間32.2km供用
七尾IC～氷見北IC間25.3km事業中
うち七尾東IC～大泊IC間9.3kmを重点整備中

目標達成に向けた具体的な課題

- ・用地取得の促進
(相続人問題等の解決による用地取得の促進)
- ・地元対応
(工事説明会・見学会等による地元協力体制の確立)
- ・国の公共事業費の確保
(積極的な整備促進活動)

平成22年度主要事業

- ・能越自動車道七尾氷見道路用地交渉事務
- ・能越自動車道工事現場見学
- ・能越自動車道七尾区間建設促進協議会負担金
- ・能越自動車道能登区間建設促進協議会負担金



担当課	評価ランク
土木課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
安全・快適な道路整備が行われていると思う市民の割合（市民アンケート）	36.8%	39.7%	40.0%	45.0%

この分野における現状

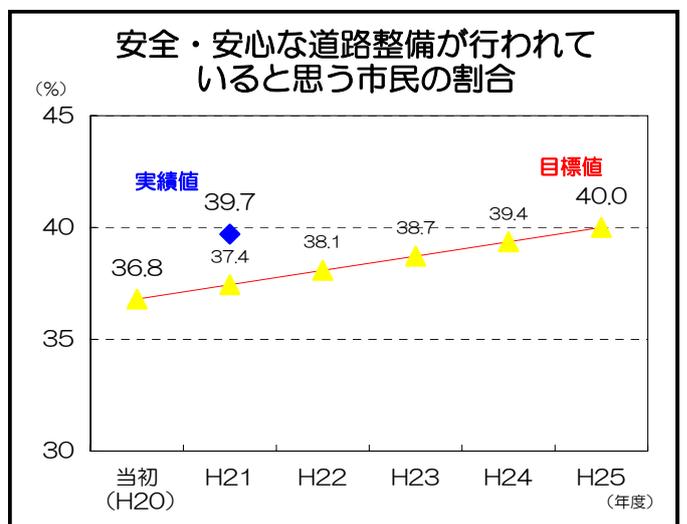
- ・市内各拠点のアクセス機能の低下
- ・歩行者や運転者に危険な道路の存在

目標達成に向けた具体的な課題

- ・道路の拡幅やバイパス等の整備
(県事業への整備・促進要望)
- ・安全・安心な道路整備
(通学路や狭小道路の整備、橋梁の維持管理)

平成22年度主要事業

- ・道路改良事業（改良・舗装）
- ・みちがえるみち整備事業
- ・くらしにやさしいみちづくり事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
4 交通体系の充実
(2) 鉄道・バスの充実

担当課	評価ランク
総務課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成21年度)	平成25年度	平成30年度
公共交通機関（鉄道・バス）が充実していると思う市民の割合（市民アンケート）	35.9%	35.1%	42.0%	50.0%

この分野における現状

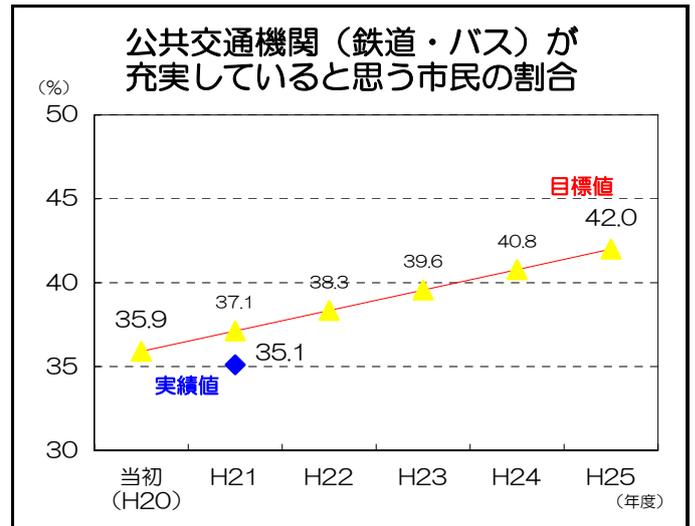
・経営の効率化を図るとともに、利用者の増加、サービスの向上に向けた施策を行っている。七尾市も沿線自治体として運営費、運賃の助成や駅員の配置など直接的、間接的に支援を行っている。

目標達成に向けた具体的な課題

・過疎化、少子化の進行による利用者の減少

平成22年度主要事業

- ・のと鉄道運賃差額補助事業
- ・のと鉄道安全運行対策費補助金
- ・生活バス路線維持対策費補助事業
- ・七尾市地域公共交通総合連携計画に基づく実証事業



分野別目標達成状況一覧

第1節 地域経営

指標名	当初	現状	目標値		担当課	評価ランク
			平成25年度	平成30年度		
市民と行政が協力し合うまちづくりが進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	20.1% （平成20年度）	22.6% （平成21年度）	25.0%	35.0%	地域づくり協働推進室	A
地域活動に参加している市民の割合（市民アンケート）	51.3% （平成20年度）	47.7% （平成21年度）	55.0%	60.0%	地域づくり協働推進室	B
市が市政に関する情報を適切に提供していると思う市民の割合（市民アンケート）	47.0% （平成20年度）	50.3% （平成21年度）	56.0%	65.0%	市民男女協働課	A
市役所職員の窓口や電話での対応に満足している市民の割合（市民アンケート）	56.0% （平成20年度）	57.7% （平成21年度）	65.0%	75.0%	秘書人事課	A
経常収支比率	98.8% （平成19年度）	94.5% （平成21年度）	97.0%	92.0%	財政課	A
実質公債費比率	20.1% （平成19年度）	20.2% （平成21年度）	19.0%	17.0%	財政課	B

第2節 産業

指標名	当初	現状	目標値		担当課室	評価ランク
			平成25年度	平成30年度		
七尾市への入り込み客数	3,822,705人 （平成20年）	3,684,295人 （平成21年）	4,000,000人	4,300,000人	観光交流課	B
和倉温泉への入り込み客数	905,705人 （平成20年）	810,071人 （平成21年）	1,091,000人	1,200,000人	観光交流課	C
三大都市圏からの入り込み客数 （和倉温泉）	482,115人 （平成20年修正）	436,857人 （平成21年）	570,000人	600,000人	観光交流課	C
外国人宿泊客数 （和倉温泉）	21,268人 （平成20年修正）	10,784人 （平成21年）	40,000人	50,000人	観光交流課	C
体験・滞在型交流人口	2,202人泊 （平成19年度）	10,579人泊 （平成21年度）	65,000人泊 7,300人泊	90,000人泊 9,500人泊	観光交流課	B
製造品出荷額等	693億円 （平成18年）	703億円 （平成20年）	721億円 750億円 724億円	741億円 750億円 749億円	産業振興課	B
（修正）新たな商品・サービスの創出を行った事業者数	15事業者 （平成20年）	7事業者 （平成21年）	10事業者	15事業者	産業振興課	A
企業立地件数（H21からの累計）	0件 （平成19年度）	2件 （平成21年度）	5件	10件	企画課	特A
（修正）新規企業家数（平成19年度からの累計）	3人 （平成19年度）	5人 （平成21年度）	8人	12人	産業振興課	A
認定農家数	101経営体 （平成19年度）	116経営体 （平成21年度）	130経営体	160経営体	農林水産課	A
（修正）集落営農組織数	25組織 （平成19年度）	25組織 （平成21年度）	27組織	28組織	農林水産課	A
間伐材生産量	1,213m ³ （平成19年度）	3,165m ³ （平成21年度）	4,000m ³ 4,880m ³	4,700m ³ 2,390m ³	農林水産課	B
七尾市公設地方卸売市場の水産物取扱高	12,205千t （平成19年）	14,013千t （平成21年）	13,800千t 12,500千t	15,300千t 13,000千t	農林水産課	S
取扱貨物量（七尾港）	4,395千t （平成19年）	3,129千t （平成21年）	4,900千t	5,400千t	企画課	C
（修正）空き店舗の活用件数	0件 （平成20年度）	1件 （平成21年度）	4件	9件	産業振興課	A
まちなかイベント入り込み客数	104,600人 （平成19年）	114,400人 （平成21年）	135,000人 116,000人	160,000人 125,000人	観光交流課	B

分野別目標達成状況一覧

第3節 教育

指標名	当初	現状	目標値		担当課室	評価ランク
			平成25年度	平成30年度		
学校の決まりを守っていないという小学生の割合	25.0% (平成19年度)	15.9% (平成21年度)	12.0% 18.0%	10.0%	子ども教育課	S
将来の夢や目標がないという中学生の割合	32.0% (平成19年度)	34.4% (平成21年度)	21.0%	10.0%	子ども教育課	C
中学校における不登校生徒の割合	3.22% (平成19年度)	2.65% (平成21年度)	2.00%	1.00%	子ども教育課	B
学力調査で市平均が県平均を上回る教科数	4教科 (平成19年度)	7教科 (平成21年度)	10教科 半数以上	すべての教科	子ども教育課	特A
授業に対する児童生徒の理解度	36.5% (平成19年度)	44.0% (平成21年度)	50.0%	70.0%	子ども教育課	A
市民一人当たり年間公民館利用回数	3.8回 (平成19年度)	3.7回 (平成21年度)	4.2回	4.5回	生涯学習課	B
市民一人当たり年間利用冊数	6.2冊 (平成19年度)	6.8冊 (平成21年度)	7.0冊	8.0冊	中央図書館	A
成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民アンケート）	23.1% (平成20年度)	20.2% (平成21年度)	40.0%	50.0%	スポーツ振興課	C
姉妹・友好都市との交流人口	149人 (平成19年度)	98人 (平成21年度)	160人	170人	市民男女協働課	C
人権が尊重されているまちづくりが進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	23.4% (平成20年度)	19.6% (平成21年度)	26.0%	28.0%	市民男女協働課	C
男女共同参画が進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	27.8% (平成20年度)	26.5% (平成21年度)	31.0%	33.0%	市民男女協働課	B

第4節 芸術・文化

指標名	当初	現状	目標値		担当課室	評価ランク
			平成25年度	平成30年度		
歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合（市民アンケート）	53.6% (平成20年度)	57.4% (平成21年度)	58.6% 55.0%	60.0%	文化財課	S
七尾四大祭り入り込み客数	204,000人 (平成20年)	205,000人 (平成21年)	250,000人	300,000人	観光交流課	B
七尾美術館観覧者数	23,348人 (平成19年度)	39,980人 (平成21年度)	38,000人 36,000人	41,000人	文化振興課	S
能登島ガラス美術館観覧者数	43,078人 (平成19年度)	46,975人 (平成21年度)	55,000人	60,000人	文化振興課	B
能登演劇堂鑑賞者数	19,231人 (平成19年度)	45,714人 (平成21年度)	24,000人	28,800人	文化振興課	特A

第5節 自然環境

指標名	当初	現状	目標値		担当課室	評価ランク
			平成25年度	平成30年度		
七尾市の豊かな自然環境が守られていると思う市民の割合（市民アンケート）	41.3% (平成20年度)	41.7% (平成21年度)	50.0%	60.0%	環境安全課	B
七尾らしい魅力ある景観が形成されていると思う市民の割合（市民アンケート）	32.7% (平成20年度)	34.5% (平成21年度)	40.0%	45.0%	都市建築課	A
家庭において温暖化防止対策の取り組みにより削減したCO ₂ の量	10,606kg (平成19年度)	81,129kg (平成21年度)	97,129kg 44,000kg	117,129kg 20,000kg	環境安全課	S
リサイクル率	18.6% (平成19年度)	17.7% (平成21年度)	20.2%	25.0%	環境安全課	B

分野別目標達成状況一覧

第6節 健康・福祉・医療

指標名	当初	現状	目標値		担当課室	評価ランク
			平成25年度	平成30年度		
子どもを生み育てやすい環境が整っていると 思う市民の割合（市民アンケート）	30.6% （平成20年度）	33.5% （平成21年度）	40.0%	50.0%	子育て支援課	A
子育て支援拠点施設利用人数	16,754人 （平成19年度）	22,795人 （平成21年度）	23,000人 17,000人	23,000人 17,300人	子育て支援課	A
（修正）育児の心配・困りごとがある保護者の 割合	12.1% （平成19年度）	12.1% （平成21年度）	10.0%	8.0%	健康推進課	B
（修正）毎日朝食を食べる習慣のある子ども の割合	92.9% （平成22年度）	92.9% （平成22年度）	100%	100%	健康推進課	-
肥満の割合（BMI 25以上）	32.0% （平成19年度）	29.6% （平成21年度）	22.0%	12.0%	健康推進課	B
ストレスを感じている人の割合（市民アン ケート）	76.2% （平成20年度）	74.8% （平成21年度）	65.0%	50.0%	健康推進課	B
医療体制が充実していると思う市民の割合 （市民アンケート）	49.8% （平成20年度）	56.6% （平成21年度）	60.0% 56.0%	62.0%	保険課	S
「いきがい」を感じて日常生活を送っている 高齢者の割合（市民アンケート）	63.4% （平成20年度）	61.6% （平成21年度）	65.0%	70.0%	福祉課	B
要介護・要支援認定率	17.4% （平成20年）	17.8% （平成21年）	20.4%	22.0%	保険課	A
障害者雇用率	1.89% （平成19年）	1.74% （平成21年）	2.00%	2.20%	福祉課	B
障害者が暮らしやすい環境が整っていると 思う市民の割合（市民アンケート）	23.6% （平成20年度）	21.3% （平成21年度）	37.0%	51.0%	福祉課	C
支え合い、助け合うという意識が地域にある と思う市民の割合（市民アンケート）	44.0% （平成20年度）	42.5% （平成21年度）	51.0%	58.0%	福祉課	B

第7節 生活環境・都市基盤

指標名	当初	現状	目標値		担当課室	評価ランク
			平成25年度	平成30年度		
自主防災組織数	12団体 （平成19年度）	27団体 （平成21年度）	80団体	120団体	環境安全課	C
良好な住環境が形成されていると思う市民の 割合（市民アンケート）	38.6% （平成20年度）	38.6% （平成21年度）	45.0%	50.0%	都市建築課	B
自主防犯組織数	20団体 （平成19年度）	21団体 （平成21年度）	25団体	30団体	環境安全課	A
交通事故発生件数	229件 （平成20年）	200件 （平成21年）	200件	180件	環境安全課	S
1人1日当たりのごみ排出量	1,171g/人・日 （平成18年度）	1,064g/人・日 （平成20年度）	1,026g/人・日	995g/人・日	環境安全課	A
有収率	88.5% （平成19年度）	88.3% （平成21年度）	91.0%	93.5%	水道課	B
御祓川の水質（BOD）	7.2mg/L （平成19年度）	7.2mg/L （平成21年度）	5.0 mg/L	5.0 mg/L以下	下水道課	C
七尾市中心市街地～名古屋間の所要時間（道 路）	4時間10分 （平成20年度）	4時間5分 （平成21年度）	3時間20分	3時間20分	能越道建設推進課	A
安全・快適な道路整備が行われていると思う 市民の割合（市民アンケート）	36.8% （平成20年度）	39.7% （平成21年度）	40.0%	45.0%	土木課	A
公共交通機関（鉄道・バス）が充実している と思う市民の割合（市民アンケート）	35.9% （平成20年度）	35.1% （平成21年度）	42.0%	50.0%	総務課	B